

# 個別事項「プロセス指標」

自治体名 **西北五圏域**

## 胃がん検診（胃部X線）

プロセス指標	許容値等	西北五圏域	—	青森県	全国	対象年度	対象年齢
検診受診率	30% 以上※	14.2%	—	8.3%	2.9%	令和 3 年度	40～74歳 男女計
要精検率	11.0% 以下	7.4%	—	7.0%	5.9%	令和 2 年度	40～74歳 男女計
精検受診率	70% 以上	83.7%	—	80.4%	80.7%	令和 2 年度	40～74歳 男女計
精検未受診率	20% 以下	2.0%	—	7.1%	8.1%	令和 2 年度	40～74歳 男女計
精検未把握率	10% 以下	14.4%	—	12.5%	11.2%	令和 2 年度	40～74歳 男女計
陽性反応適中度	1.0% 以上	1.1%	—	1.2%	1.5%	平成30～令和 2 年度	40～74歳 男女計
がん発見率	0.11% 以上	0.09%	—	0.09%	0.10%	平成30～令和 2 年度	40～74歳 男女計

※1 プロセス指標で求められている目標値(50%以上)と算定方法が異なるため、便宜上30%を最大値としてグラフを作成する。

※2 胃管内視鏡検査も実施している場合、検診受診率が見かけ上、低くなっている可能性がある。

### 【県コメント】

<精検未受診率>  
許容値以下となっていますが、精検未把握率が高い場合、見かけ上未受診率が低くなることに注意してください。

<精検未把握率>  
許容値以下となるよう、「精検受診の有無及び精検結果」を確実に把握できる体制ができているか検討してください。

### プロセス指標(抜粋) 結果

レーダーチャートが  
大きい場合：結果が良好  
小さい場合：改善が必要  
を表しています。

精検未把握率  
0%

要精検率  
0%

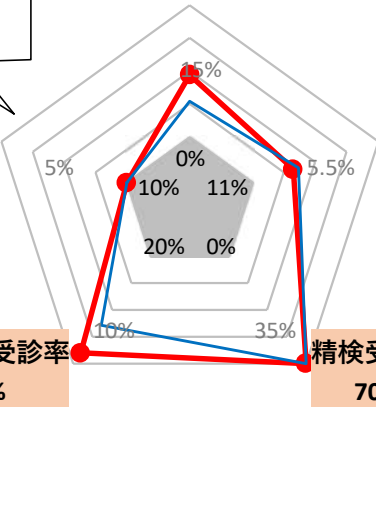
精検未受診率  
0%

精検受診率  
70%

● 西北五圏域    ● 青森県

※精密検査の未受診と未把握の分類の仕方は下記で確認できます。  
→参考資料 3 参照

※要精検率については、低すぎる（レーダーチャートが大きすぎる）時も、問題がある場合があります。  
→参考資料 4 参照



# 個別事項「プロセス指標」

がん検診に関して市町村等が取り組むべき事項

[令和6年2月20日付け青が生第1724号通知]

自治体名

西北五圏域

## 胃がん検診（胃部内視鏡）

プロセス指標	許容値等	西北五圏域	—	青森県	全国	対象年度	対象年齢
検診受診率	30%以上※	0.0%	—	0.7%	1.4%	令和3年度	50～74歳 男女計
要精検率	11.0%以下	3.2%	—	5.0%	7.1%	令和2年度	50～74歳 男女計
精検受診率	70%以上	0.0%	—	64.6%	92.7%	令和2年度	50～74歳 男女計
精検未受診率	20%以下	100.0%	—	0.5%	1.4%	令和2年度	50～74歳 男女計
精検未把握率	10%以下	0.0%	—	35.0%	5.9%	令和2年度	50～74歳 男女計
陽性反応適中度	1.0%以上	0.0%	—	5.5%	3.9%	平成30～令和2年度	50～74歳 男女計
がん発見率	0.11%以上	0.00%	—	0.28%	0.29%	平成30～令和2年度	50～74歳 男女計

※1 プロセス指標で求められている目標値(50%以上)と算定方法が異なるため、便宜上30%を最大値としてグラフを作成する。

※2 2年連続受診者の算定が困難であるため、その者がいた場合、検診受診率に含まれている。

### 【県コメント】

#### <検診受診率>

県平均以下となっています。対象者を全員把握できているか、対象者へのコール・リコールが実施できているか、受診者の利便性（休日夜間の検診、バス送迎等）が確保できているか等検討してください。

#### <精検受診率>

許容値以上となるよう、精検受診勧奨が適切に実施できているか、精検受診者の利便性が確保できているか等検討してください。併せて、精検未把握率が高くなっていないか確認してください。精検受診率が低いと陽性反応適中度とがん発見率は正確に評価できません。

#### <精検未受診率>

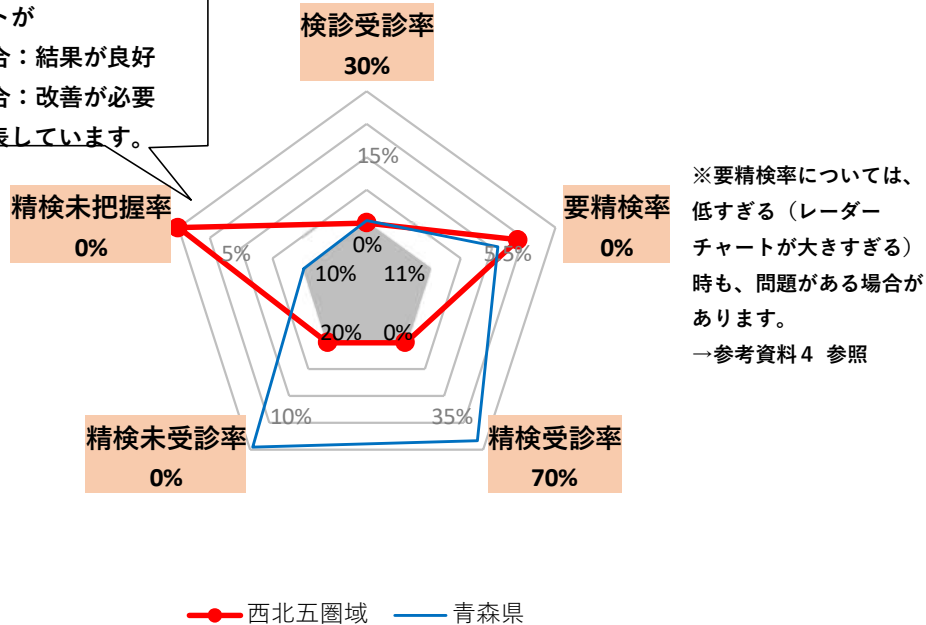
許容値以下となるよう、精検受診勧奨が適切に実施できているか、精検受診者の利便性が確保できているか等検討してください。

## プロセス指標(抜粋) 結果

レーダーチャートが

大きい場合：結果が良好  
小さい場合：改善が必要  
を表しています。

※精密検査の未受診と未把握の分類の仕方は下記で確認できます。  
→参考資料3 参照



※要精検率については、低すぎる（レーダーチャートが大きすぎる）時も、問題がある場合があります。  
→参考資料4 参照

# 個別事項「プロセス指標」

自治体名

西北五圏域

## 大腸がん検診

プロセス指標	許容値等	西北五圏域	—	青森県	全国	対象年度	対象年齢
検診受診率	30%以上※	22.4%	—	14.2%	8.9%	令和3年度	40～74歳 男女計
要精検率	7.0%以下	5.6%	—	6.0%	6.6%	令和2年度	40～74歳 男女計
精検受診率	70%以上	80.9%	—	74.6%	71.4%	令和2年度	40～74歳 男女計
精検未受診率	20%以下	3.4%	—	9.0%	12.7%	令和2年度	40～74歳 男女計
精検未把握率	10%以下	15.7%	—	16.5%	16.0%	令和2年度	40～74歳 男女計
陽性反応適中度	1.9%以上	3.0%	—	3.0%	3.1%	平成30～令和2年度	40～74歳 男女計
がん発見率	0.13%以上	0.16%	—	0.18%	0.20%	平成30～令和2年度	40～74歳 男女計

※プロセス指標で求められている目標値(50%以上)と算定方法が異なるため、便宜上30%を最大値としてグラフを作成する。

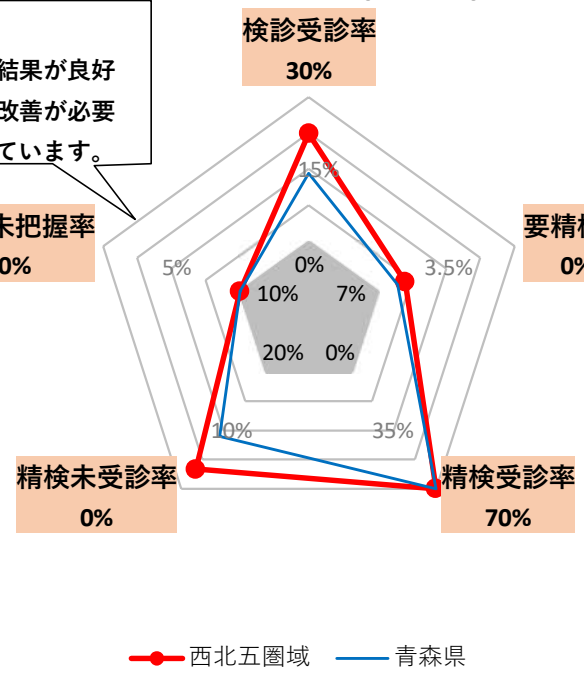
### プロセス指標(抜粋) 結果

レーダーチャートが  
大きい場合：結果が良好  
小さい場合：改善が必要  
を表しています。

精検未把握率  
0%

要精検率 ※要精検率については、  
低すぎる(レーダー  
チャートが大きすぎる)  
時も、問題がある場合が  
あります。  
→参考資料4 参照

※精密検査の未受診と  
未把握の分類の仕方は  
下記で確認できます。  
→参考資料3 参照



### 【県コメント】

<精検未受診率>  
許容値以下となっていますが、精検未把握率が高い場合、見かけ上未受診率が低くなることに注意してください。

<精検未把握率>  
許容値以下となるよう、「精検受診の有無及び精検結果」を確実に把握できる体制ができているか検討してください。

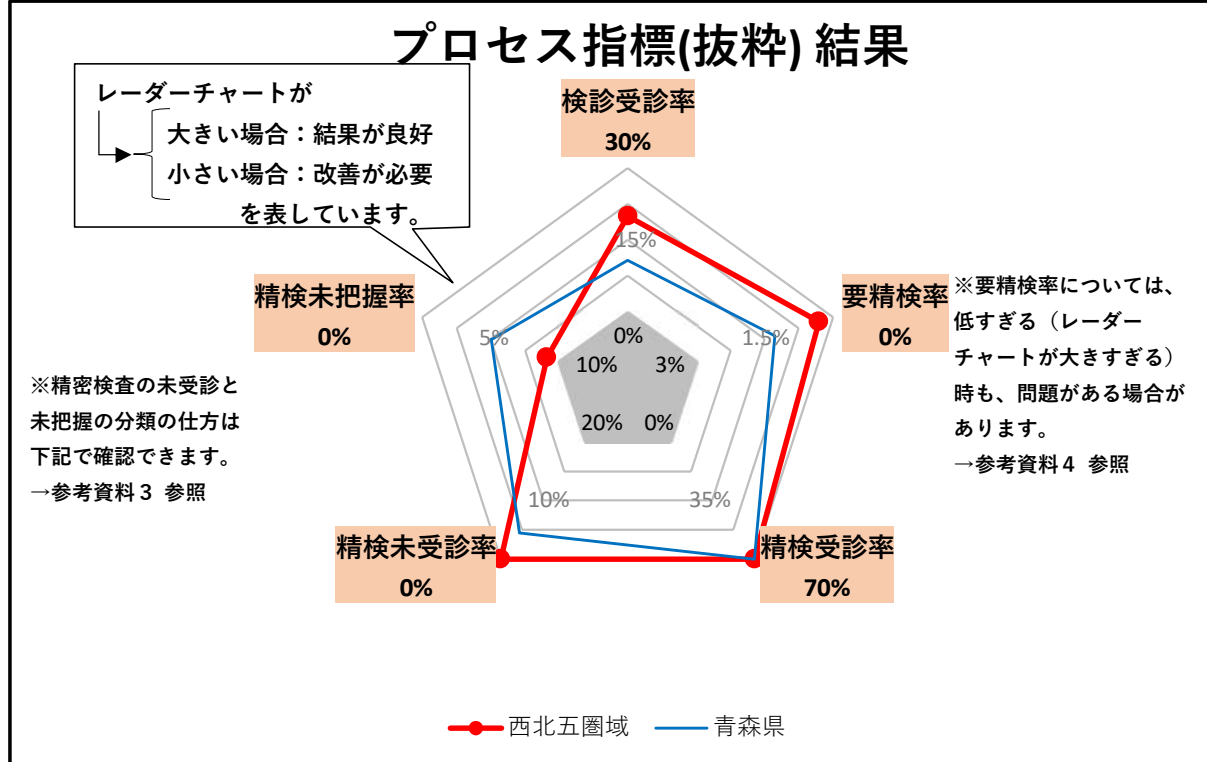
# 個別事項「プロセス指標」

自治体名	西北五圏域
------	-------

## 肺がん検診

プロセス指標	許容値等	西北五圏域	—	青森県	全国	対象年度	対象年齢
検診受診率	30%以上※	20.0%	—	10.8%	8.0%	令和3年度	40～74歳 男女計
要精検率	3.0%以下	0.3%	—	1.3%	1.8%	令和2年度	40～74歳 男女計
精検受診率	70%以上	90.9%	—	90.6%	83.4%	令和2年度	40～74歳 男女計
精検未受診率	20%以下	0.0%	—	4.4%	5.8%	令和2年度	40～74歳 男女計
精検未把握率	10%以下	9.1%	—	5.0%	10.8%	令和2年度	40～74歳 男女計
陽性反応適中度	1.3%以上	3.4%	—	3.1%	2.3%	平成30～令和2年度	40～74歳 男女計
がん発見率	0.03%以上	0.03%	—	0.04%	0.04%	平成30～令和2年度	40～74歳 男女計

※プロセス指標で求められている目標値(50%以上)と算定方法が異なるため、便宜上30%を最大値としてグラフを作成する。



### 【県コメント】

<要精検率>  
極端に低値の場合、有病率の低い年齢層に偏っていないか、各検診機関の判定基準が適切か確認する必要があります。

# 個別事項「プロセス指標」

自治体名

西北五圏域

## 乳がん検診

プロセス指標	許容値等	西北五圏域	(うち前年度 未受診)	(うち2年 連続受診)	—	青森県	全国	対象年度	対象年齢
検診受診率	30%以上※	27.5%	27.38%	0.13%	—	19.4%	15.2%	令和2～3年度	40～74歳 女性
要精検率	11.0%以下	4.6%			—	5.5%	6.0%	令和2年度	40～74歳 女性
精検受診率	80%以上	93.4%			—	92.1%	90.1%	令和2年度	40～74歳 女性
精検未受診率	10%以下	1.5%			—	3.1%	2.8%	令和2年度	40～74歳 女性
精検未把握率	10%以下	5.1%			—	4.8%	7.1%	令和2年度	40～74歳 女性
陽性反応適中度	2.5%以上	5.4%			—	5.7%	5.2%	平成30～令和2年度	40～74歳 女性
がん発見率	0.23%以上	0.30%			—	0.34%	0.32%	平成30～令和2年度	40～74歳 女性

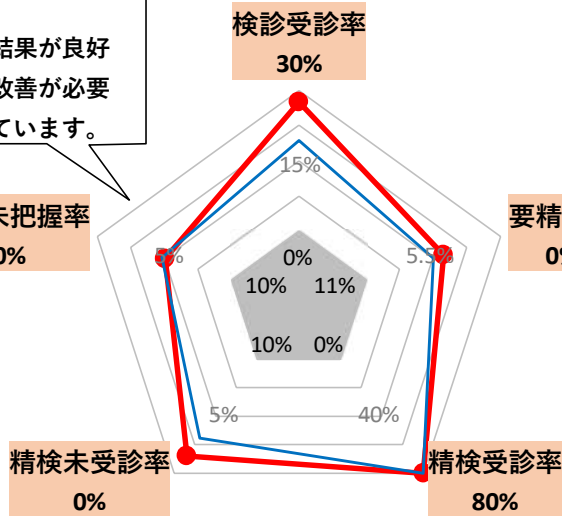
※プロセス指標で求められている目標値(50%以上)と算定方法が異なるため、便宜上30%を最大値としてグラフを作成する。

### プロセス指標(抜粋) 結果

レーダーチャートが  
大きい場合：結果が良好  
小さい場合：改善が必要  
を表しています。

精検未把握率  
0%

※精密検査の未受診と  
未把握の分類の仕方は  
下記で確認できます。  
→参考資料3 参照



要精検率 ※要精検率については、  
低すぎる(レーダー  
チャートが大きすぎる)  
時も、問題がある場合が  
あります。  
→参考資料4 参照

● 西北五圏域    ● 青森県

### 【県コメント】

<検診受診率(受診間隔)>  
受診率は高いほうが望ましい指標ですが、受診間隔(2年に1回)は  
遵守する必要があります。

# 個別事項「プロセス指標」

自治体名

西北五圏域

## 子宮頸がん検診

プロセス指標	許容値等	西北五圏域	(うち前年度 未受診)	(うち2年 連続受診)	—	青森県	全国	対象年度	対象年齢
検診受診率	30%以上※1	21.7%	21.59%	0.12%	—	17.3%	15.1%	令和2～3年度	20～74歳 女性
要精検率	1.4%以下※2	1.8%			—	2.1%	2.3%	令和2年度	20～74歳 女性
精検受診率	70%以上	78.8%			—	83.3%	76.7%	令和2年度	20～74歳 女性
精検未受診率	20%以下	2.4%			—	4.2%	5.8%	令和2年度	20～74歳 女性
精検未把握率	10%以下	18.8%			—	12.5%	17.6%	令和2年度	20～74歳 女性
陽性反応適中度	4.0%以上※3	2.5%			—	1.4%	1.2%	平成30～令和2年度	20～74歳 女性
がん発見率	0.05%以上※3	0.04%			—	0.03%	0.03%	平成30～令和2年度	20～74歳 女性

※1 プロセス指標で求められている目標値(50%以上)と算定方法が異なるため、便宜上30%を最大値としてグラフを作成する。

※2 全国的に近年増加傾向にあり、今後の国の検討状況次第では許容値が見直される可能性があります。

※3 H26以降のがんの定義の変更により以前と比較し減少しているため、今後許容値が見直される可能性があります。

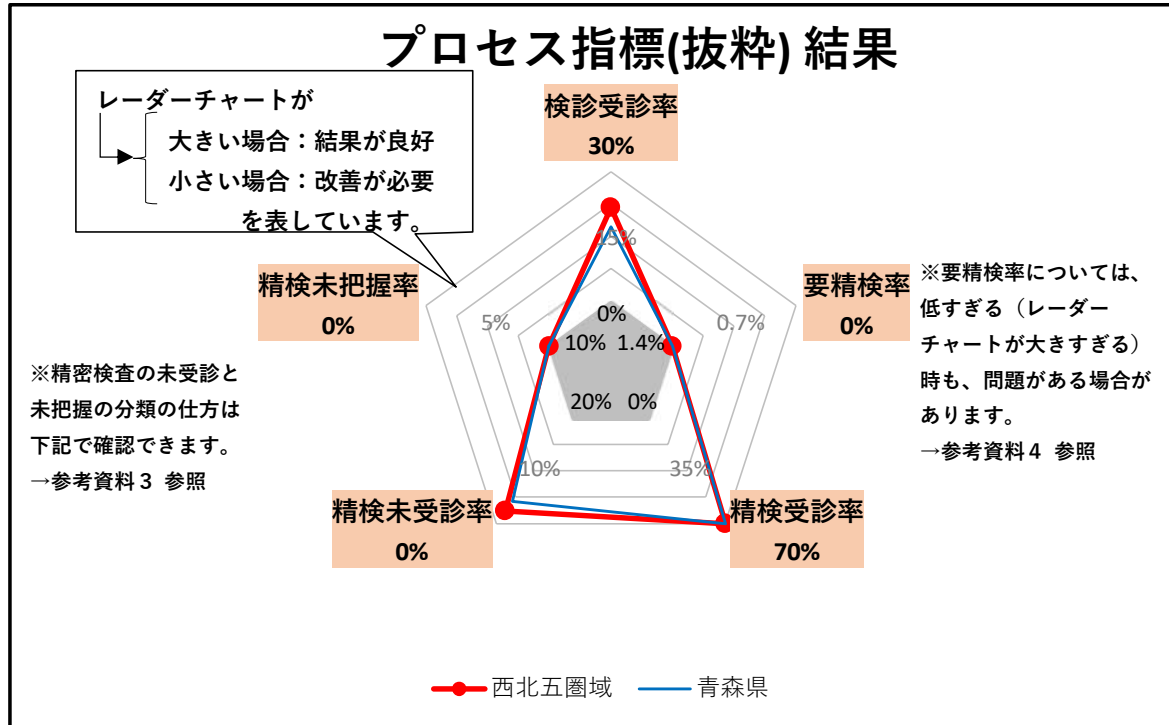
**【県コメント】**

<検診受診率（受診間隔）>  
 受診率は高いほうが望ましい指標ですが、受診間隔（2年に1回）は遵守する必要があります。

<要精検率>  
 許容値以下となるよう、有症状者が検診を受けていないか検討するとともに、有病率の高い年齢層・初回受診者に偏っていないか、各検診機関の判定基準が適切か確認する必要があります。

<精検未受診率>  
 許容値以下となっていますが、精検未把握率が高い場合、見かけ上未受診率が低くなることに注意してください。

<精検未把握率>  
 許容値以下となるよう、「精検受診の有無及び精検結果」を確実に把握できる体制ができていないか検討してください。



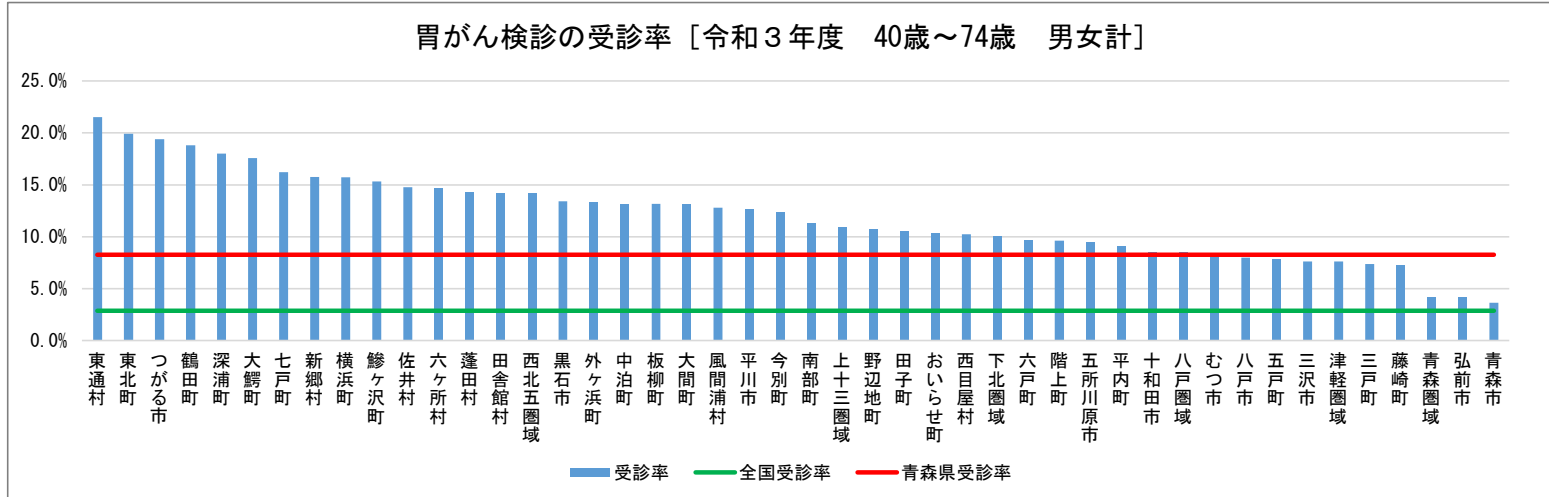


個別事項「プロセス指標」

令和3年度 胃がん検診（胃部X線）プロセス指標－受診率－

自治体名	西北五圏域
------	-------

1. 胃がん検診（胃部X線）の受診率



**指標の意義・一般的な対策**

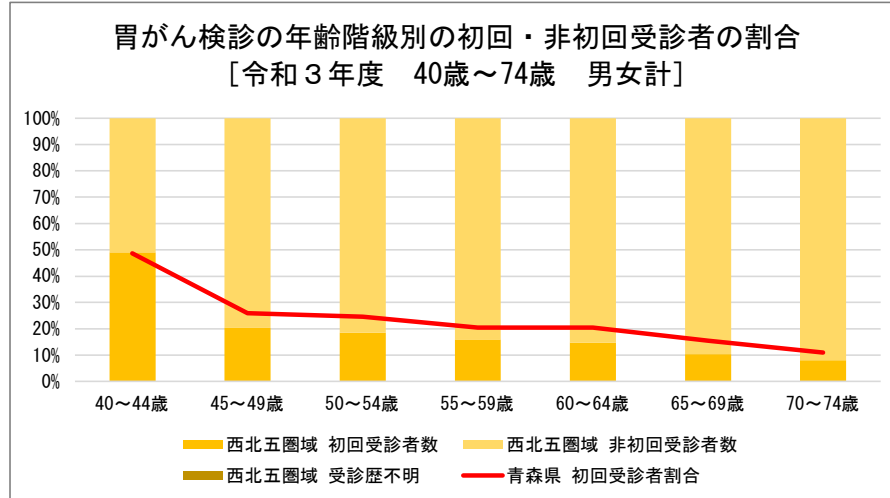
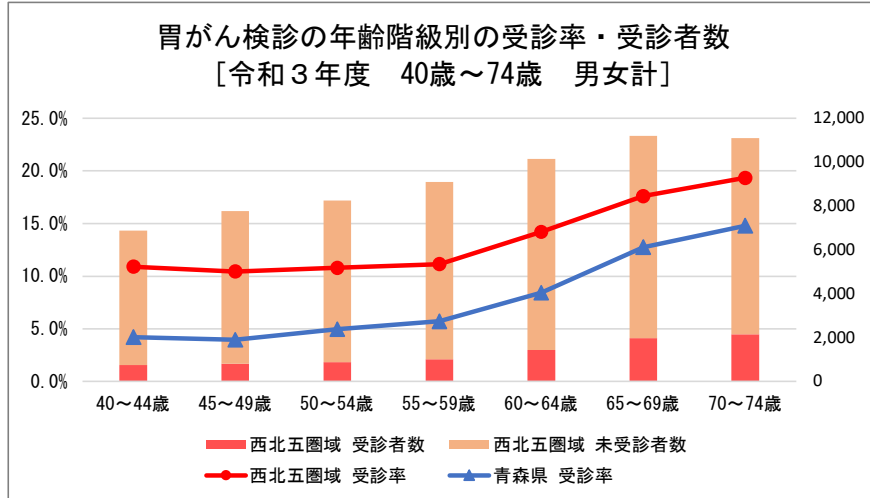
- ・受診率は、高い方が望ましい指標です。精度管理により検診の質を高めた上で、受診率を上げていく必要があります。
- ・性別・年齢階級別／検診機関別／検診歴別（初回・非初回別）の集計・分析は、課題を検討し、対策を講じるうえで必要となるため、台帳の電子システム化等により行えるようにすることが必要です。
- ・特定の年齢層の受診率が低い場合や、初回受診者が少ない場合、個別の受診勧奨・再勧奨の実施や、検診の提供体制（キャパシティ、利便性等）の改善について検討が必要です。

<胃がん検診（胃部X線）の受診率 [令和3年度 40歳～74歳 男女計] >

区分	全国	青森県	青森圏域	津軽圏域	八戸圏域	西北五圏域	上十三圏域	下北圏域	青森市	弘前市	八戸市	黒石市	五所川原市	十和田市	三沢市	むつ市	つがる市	平川市
受診率	2.9%	8.3%	4.2%	7.6%	8.5%	14.2%	10.9%	10.1%	3.7%	4.2%	8.0%	13.4%	9.5%	8.5%	7.6%	8.3%	19.4%	12.7%
順位	—	—	—	—	—	—	—	—	40位	39位	34位	15位	30位	32位	36位	33位	3位	21位
受診者数	1,729,346	52,314	6,466	10,541	13,470	9,016	9,169	3,652	5,193	3,512	8,994	2,216	2,572	2,636	1,371	2,374	3,074	1,958
対象者数	59,803,144	633,644	153,306	138,443	158,411	63,604	83,796	36,084	141,938	83,316	112,660	16,532	27,091	30,992	18,000	28,432	15,853	15,399
区分	平内町	今別町	蓬田村	外ヶ浜町	鱒ヶ沢町	深浦町	西目屋村	藤崎町	大鰐町	田舎館村	板柳町	鶴田町	中泊町	野辺地町	七戸町	六戸町	横浜町	東北町
受診率	9.1%	12.4%	14.3%	13.3%	15.3%	18.0%	10.2%	7.3%	17.6%	14.2%	13.2%	18.8%	13.2%	10.8%	16.2%	9.7%	15.7%	19.9%
順位	31位	22位	13位	16位	10位	5位	27位	38位	6位	14位	18位	4位	17位	24位	7位	28位	9位	2位
受診者数	523	155	197	398	758	717	63	537	834	537	884	1,169	726	700	1,266	519	333	1,653
対象者数	5,751	1,249	1,378	2,990	4,946	3,988	616	7,357	4,742	3,769	6,712	6,221	5,505	6,511	7,812	5,371	2,118	8,301
区分	六ヶ所村	おいらせ町	大間町	東通村	風間浦村	佐井村	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村	[受診率の計算方法について] 受診者数÷対象者数=受診率 ※他のプロセス指標に合わせ、75歳未満の受診率を計算しているため他の統計の受診率と異なる。 ※胃内内視鏡検査も実施している場合、検診受診率が見かけ上、低くなっている可能性がある。					
受診率	14.7%	10.3%	13.1%	21.5%	12.8%	14.8%	7.4%	7.9%	10.5%	11.3%	9.6%	15.8%						
順位	12位	26位	19位	1位	20位	11位	37位	35位	25位	23位	29位	8位						
受診者数	691	1,286	345	668	122	143	360	674	284	1,006	685	181						
対象者数	4,691	12,440	2,627	3,102	954	969	4,872	8,555	2,701	8,922	7,113	1,148						

(出典：R3年度地域保健・健康増進事業報告) ※対象者数(分母)は対象年齢の全住民で、受診者数(分子)は市町村事業の受診者数であり、職域や人間ドックで受診している者は含まれていない。

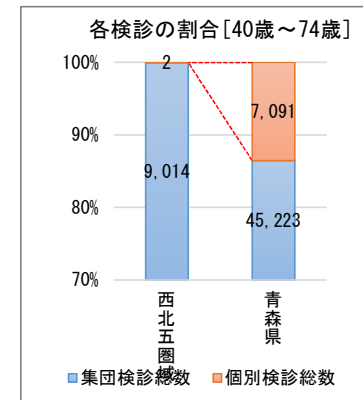
2. 胃がん検診（胃部X線）の受診者の状況



<胃がん検診（胃部X線）の年齢階級別の受診者数・受診率 [令和3年度 男女計]>

区分	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上	合計	40～69歳	40～74歳
西北五圏域 対象者数	6,873	7,759	8,248	9,104	10,140	11,189	11,098	25,748		90,159	53,313	64,411
西北五圏域 受診者数	749	809	889	1,014	1,440	1,970	2,145	1,361	1,059	11,436	6,871	9,016
西北五圏域 初回受診者数	367	164	165	161	211	204	172	102	100	1,646	1,272	1,444
西北五圏域 非初回受診者数	382	645	724	853	1,229	1,766	1,973	1,259	959	9,790	5,599	7,572
西北五圏域 受診歴不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
西北五圏域 受診率	10.9%	10.4%	10.8%	11.1%	14.2%	17.6%	19.3%	9.4%		12.7%	12.9%	14.0%
青森県 対象者数	75,375	87,278	86,572	84,203	91,066	99,210	109,940	218,817		852,461	523,704	633,644
青森県 受診者数	3,180	3,457	4,298	4,813	7,664	12,648	16,254	9,092	6,470	67,876	36,060	52,314
青森県 初回受診者数	1,547	896	1,056	987	1,565	1,959	1,778	1,011	656	11,455	8,010	9,788
青森県 非初回受診者数	1,599	2,516	3,206	3,783	6,037	10,579	14,376	8,035	5,782	55,913	27,720	42,096
青森県 受診歴不明	34	45	36	43	62	110	100	46	32	508	330	430
青森県 受診率	4.2%	4.0%	5.0%	5.7%	8.4%	12.7%	14.8%	7.1%		8.0%	6.9%	8.3%

※初回受診者＝過去3年間に受診歴がない者  
 ※非初回受診者＝過去3年間に受診歴がある者



※受診者数はR3年度の受診者数である。

※初回受診者数と非初回受診者数の合計が受診者数と一致しない、または初回受診者数と非初回受診者数を計上していない市町村があるため、そのような場合は受診歴不明として計上している。

※対象者数から受診者数を除いた人数を未受診者数と定義しているが、実際は職場や人間ドック等でがん検診を受診している者が含まれている。



個別事項「プロセス指標」（別紙4とは対象年度が異なる点に留意）

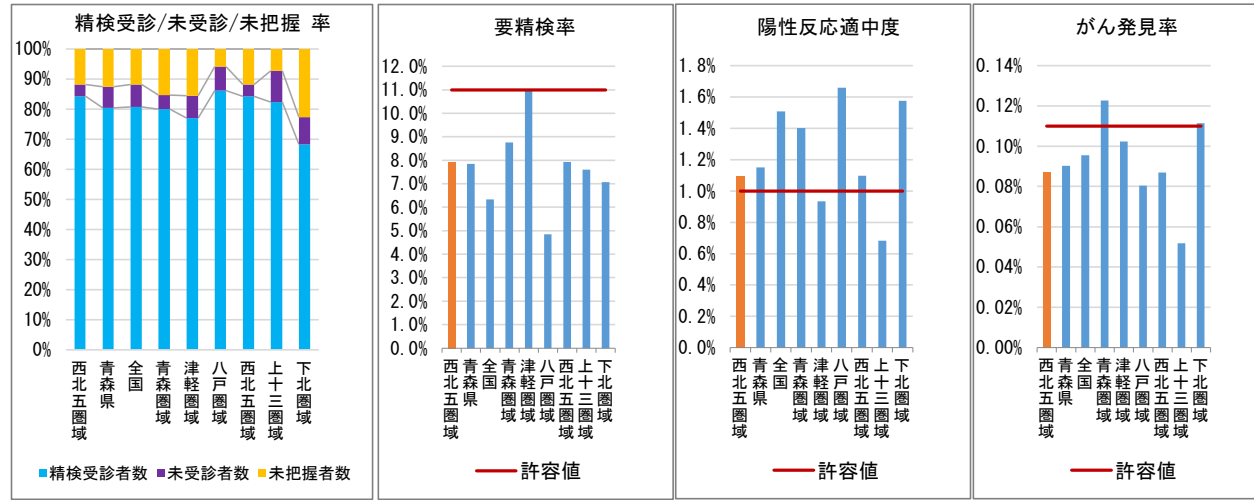
別紙4\_参考2

がん検診に関して市町村等が取り組むべき事項  
[令和6年2月20日付け青が生第1724号通知]

平成30～令和2年度 胃がん検診（胃部X線）プロセス指標－受診率を除く－

自治体名	西北五圏域
------	-------

1. 胃がん検診（胃部X線）のプロセス指標（受診率を除く）



※許容値以下で極端な高低がないこと ※許容値以上で極端な高低がないこと ※許容値以上で極端な高低がないこと

<胃がん検診（胃部X線）のプロセス指標 [平成30～令和2年度 40歳～74歳 男女計] >

区分	西北五圏域	青森県	全国	青森圏域	津軽圏域	八戸圏域	西北五圏域	上十三圏域	下北圏域	許容値
受診者数	28,717	183,824	5,832,796	28,491	40,033	45,982	28,717	28,948	11,653	—
要精検者数	2,276	14,420	369,746	2,497	4,396	2,229	2,276	2,198	824	—
未把握者数	271	1,813	43,571	382	684	131	271	158	187	—
未受診者数	89	1,013	27,579	116	327	177	89	230	74	—
精検受診者数	1,916	11,594	298,596	1,999	3,385	1,921	1,916	1,810	563	—
がんであった者	25	166	5,577	35	41	37	25	15	13	—
要精検率	7.9%	7.8%	6.3%	8.8%	11.0%	4.8%	7.9%	7.6%	7.1%	11.0% 以下
精検受診率	84.2%	80.4%	80.8%	80.1%	77.0%	86.2%	84.2%	82.3%	68.3%	70% 以上
未受診率	3.9%	7.0%	7.5%	4.6%	7.4%	7.9%	3.9%	10.5%	9.0%	20% 以下
未把握率	11.9%	12.6%	11.8%	15.3%	15.6%	5.9%	11.9%	7.2%	22.7%	10% 以下
陽性反応適中度	1.1%	1.2%	1.5%	1.4%	0.9%	1.7%	1.1%	0.7%	1.6%	1.0% 以上
がん発見率	0.09%	0.09%	0.10%	0.12%	0.10%	0.08%	0.09%	0.05%	0.11%	0.11% 以上

[計算方法] ●要精検率=精検受診者数÷受診者数、●精検受診率=精検受診者数÷要精検者数、●未受診率=未受診者数÷要精検者数、●未把握率=未把握者数÷要精検者数、●陽性反応適中度=がんであった者÷要精検者数、●がん発見率=がんであった者÷受診者数

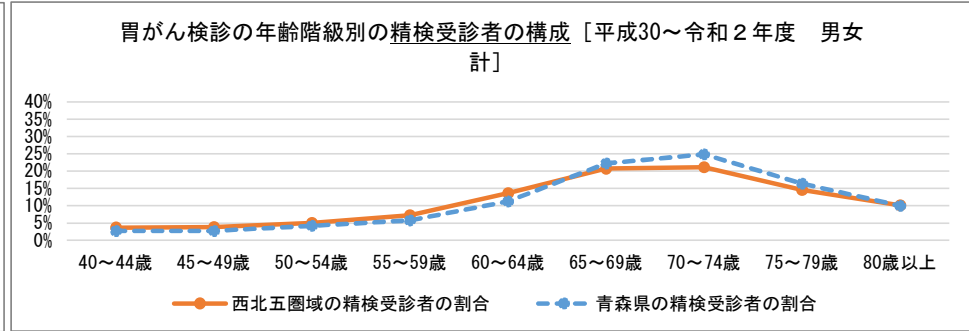
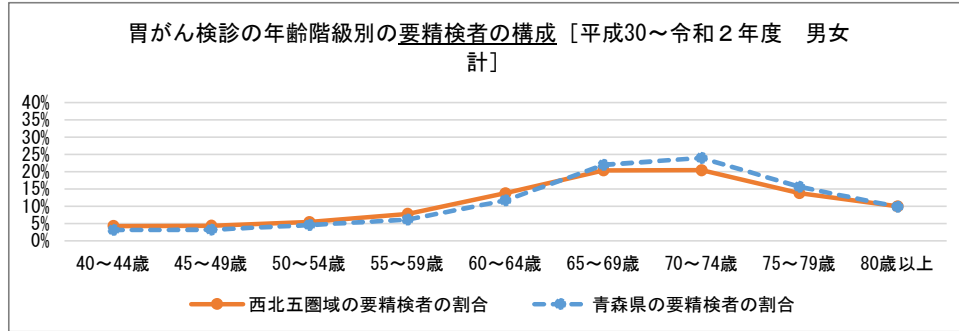
(出典：R元～R3年度地域保健・健康増進事業報告)

指標の意義・一般的な対策	
精検受診率 未受診率 未把握率	<ul style="list-style-type: none"> <li>要精検者の精検受診状況を測る指標です。</li> <li>精検受診率が低ければ、死亡率減少につながらないため、検診受診率よりも精検受診率向上が優先されます。また、100%に近くなければ、がん発見率等を適切に評価できません。</li> <li>精検結果回収の仕組みを整備し、精検未受診・未把握を適切に分類して、精検受診勧奨に取り組むことで、精検受診率100%に向けて取り組む必要があります。</li> </ul>
要精検率	<ul style="list-style-type: none"> <li>検診において、精密検査の対象者が適切に絞られているかを測る指標です。対象集団に応じて適切な範囲があり、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となります。</li> <li>要精検率が高い場合は有病率の高い集団に偏っていることや偽陽性が多いことが、低い場合は有病率の低い集団に偏っていることや偽陰性が多いことが原因と予想されるため検討が必要となります。</li> </ul>
陽性反応適中度	<ul style="list-style-type: none"> <li>検診において、効率よくがんが発見されたかを測る指標です。基本的に高いことが望ましいですが、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となります。</li> <li>陽性反応適中度が高い場合は有病率の高い集団に偏っていることが、低い場合は有病率の低い集団に偏っていることや偽陽性が多いことが原因と予想されるため検討が必要となります。</li> </ul>
がん発見率	<ul style="list-style-type: none"> <li>検診において、適正な頻度でがんを発見できたかを測る指標です。基本的に高いことが望ましいですが、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となります。</li> <li>がん発見率が高い場合は有病率の高い集団に偏っていることが、低い場合は有病率の低い集団に偏っていることや偽陰性が多いことが原因と予想されるため検討が必要となります。</li> </ul>

自治体名

西北五圏域

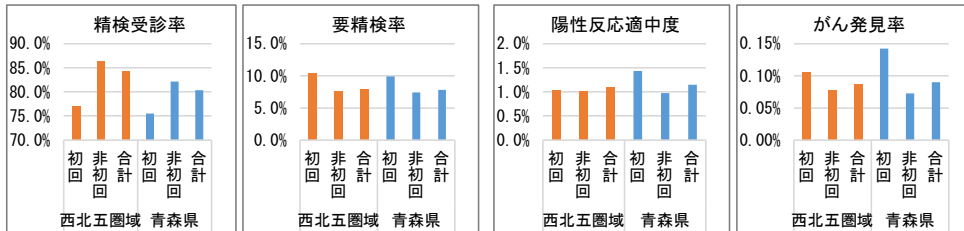
2. 胃がん検診（胃部X線）の年齢階級別・受診歴別・検診方式別のプロセス指標



<胃がん検診（胃部X線）の年齢階級別の要精検者数・精検受診者数・精検受診率 [平成30～令和2年度 男女計]>

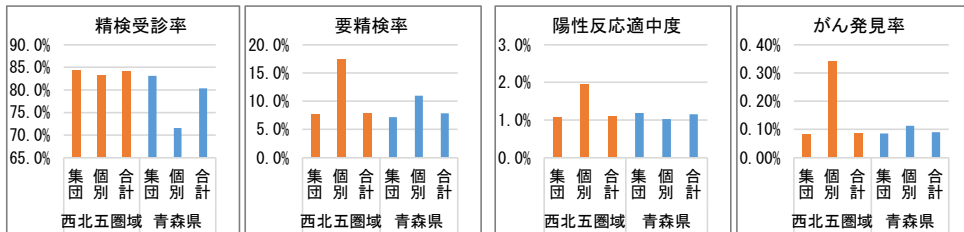
区分	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上	合計	40～74歳
西北五圏域 要精検者数	128	130	161	231	410	607	609	411	297	2,984	2,276
西北五圏域 精検受診者数	93	98	128	184	347	528	538	372	257	2,545	1,916
西北五圏域 精検受診率	72.7%	75.4%	79.5%	79.7%	84.6%	87.0%	88.3%	90.5%	86.5%	85.3%	84.2%
青森県 要精検者数	603	617	882	1,183	2,258	4,242	4,635	3,012	1,901	19,333	14,420
青森県 精検受診者数	429	428	658	903	1,765	3,498	3,913	2,580	1,569	15,743	11,594
青森県 精検受診率	71.1%	69.4%	74.6%	76.3%	78.2%	82.5%	84.4%	85.7%	82.5%	81.4%	80.4%

<胃がん検診（胃部X線）の受診歴別のプロセス指標 [平成30～令和2年度 40歳～74歳 男女計]>



区分	受診者数	要精検者数	精検受診者数	がんであった者	要精検率	精検受診率	陽性反応適中度	がん発見率
西北五圏域 初回	3,767	391	301	4	10.4%	77.0%	1.0%	0.11%
西北五圏域 非初回	22,208	1,668	1,441	17	7.5%	86.4%	1.0%	0.08%
西北五圏域 合計	28,717	2,276	1,916	25	7.9%	84.2%	1.1%	0.09%
青森県 初回	31,674	3,134	2,368	45	9.9%	75.6%	1.4%	0.14%
青森県 非初回	133,815	9,934	8,157	97	7.4%	82.1%	1.0%	0.07%
青森県 合計	183,824	14,420	11,594	166	7.8%	80.4%	1.2%	0.09%

<胃がん検診（胃部X線）の検診方式別のプロセス指標 [平成30～令和2年度 40歳～74歳 男女計]>



区分	受診者数	要精検者数	精検受診者数	がんであった者	要精検率	精検受診率	陽性反応適中度	がん発見率
西北五圏域 集団検診	28,131	2,174	1,831	23	7.7%	84.2%	1.1%	0.08%
西北五圏域 個別検診	586	102	85	2	17.4%	83.3%	2.0%	0.34%
西北五圏域 合計	28,717	2,276	1,916	25	7.9%	84.2%	1.1%	0.09%
青森県 集団検診	152,959	11,023	9,163	131	7.2%	83.1%	1.2%	0.09%
青森県 個別検診	30,865	3,397	2,431	35	11.0%	71.6%	1.0%	0.11%
青森県 合計	183,824	14,420	11,594	166	7.8%	80.4%	1.2%	0.09%

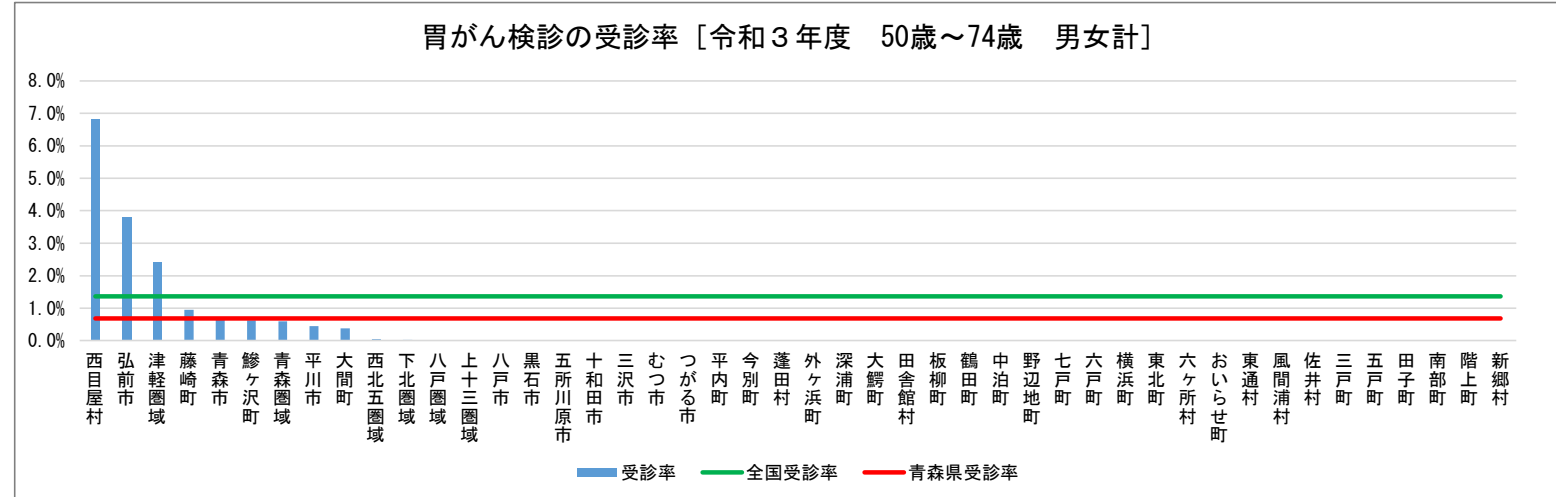
(出典：R元～R3年度地域保健・健康増進事業報告)

個別事項「プロセス指標」

令和3年度 胃がん検診（胃部内視鏡）プロセス指標－受診率－

自治体名	西北五圏域
------	-------

1. 胃がん検診（胃部内視鏡）の受診率



**指標の意義・一般的な対策**

- ・受診率は、高い方が望ましい指標です。精度管理により検診の質を高めた上で、受診率を上げていく必要があります。
- ・性別・年齢階級別／検診機関別／検診歴別（初回・非初回別）の集計・分析は、課題を検討し、対策を講じるうえで必要となるため、台帳の電子システム化等により行えるようにすることが必要です。
- ・特定の年齢層の受診率が低い場合や、初回受診者が少ない場合、個別の受診勧奨・再勧奨の実施や、検診の提供体制（キャパシティ、利便性等）の改善について検討が必要です。

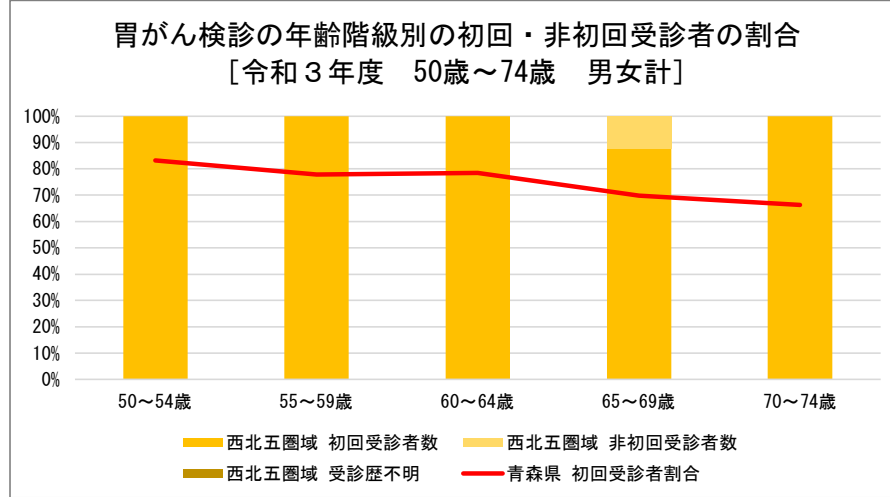
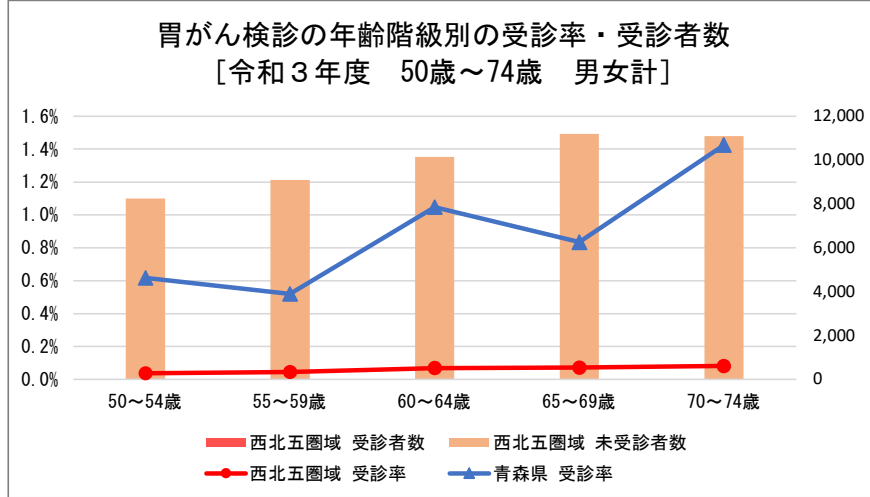
<胃がん検診（胃部内視鏡）の受診率 [令和3年度 50歳～74歳 男女計] >

区分	全国	青森県	青森圏域	津軽圏域	八戸圏域	西北五圏域	上十三圏域	下北圏域	青森市	弘前市	八戸市	黒石市	五所川原市	十和田市	三沢市	むつ市	つがる市	平川市	
受診率	1.4%	0.7%	0.6%	2.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	3.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%
順位	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2位	—	—	—	—	—	—	—	—	—
受診者数	816,130	4,320	914	3,365	0	31	0	10	914	3,185	0	0	0	0	0	0	0	0	68
対象者数	59,803,144	633,644	153,306	138,443	158,411	63,604	83,796	36,084	141,938	83,316	112,660	16,532	27,091	30,992	18,000	28,432	15,853	15,399	
区分	平内町	今別町	蓬田村	外ヶ浜町	鱒ヶ沢町	深浦町	西目屋村	藤崎町	大鰐町	田舎館村	板柳町	鶴田町	中泊町	野辺地町	七戸町	六戸町	横浜町	東北町	
受診率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	0.0%	6.8%	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
順位	—	—	—	—	—	—	1位	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
受診者数	0	0	0	0	31	0	42	70	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
対象者数	5,751	1,249	1,378	2,990	4,946	3,988	616	7,357	4,742	3,769	6,712	6,221	5,505	6,511	7,812	5,371	2,118	8,301	
区分	六ヶ所村	おいらせ町	大間町	東通村	風間浦村	佐井村	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村							
受診率	0.0%	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%							
順位	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—							
受診者数	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
対象者数	4,691	12,440	2,627	3,102	954	969	4,872	8,555	2,701	8,922	7,113	1,148							

[受診率の計算方法について]  
受診者数÷対象者数=受診率  
※他のプロセス指標に合わせ、75歳未満の受診率を計算しているため他の統計の受診率と異なる。  
※2年連続受診者の算定が困難であるため、その者がいた場合、検診受診率に含まれている。

(出典：R3年度地域保健・健康増進事業報告) ※対象者数（分母）は対象年齢の全住民で、受診者数（分子）は市町村事業の受診者数であり、職域や人間ドックで受診している者は含まれていない。

2. 胃がん検診（胃部内視鏡）の受診者の状況

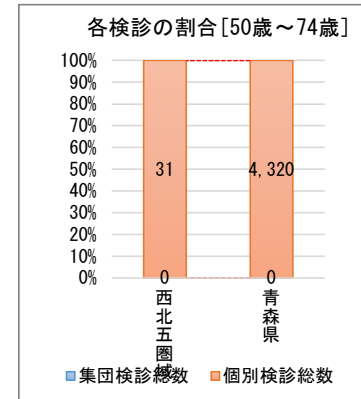


<胃がん検診（胃部内視鏡）の年齢階級別の受診者数・受診率 [令和3年度 男女計]>

区分	対象者数	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上	合計	50～69歳	50～74歳
西北五圏域 対象者数				8,248	9,104	10,140	11,189	11,098	25,748		75,527	38,681	49,779
西北五圏域 受診者数				3	4	7	8	9	5	3	39	22	31
西北五圏域 初回受診者数				3	4	7	7	9	5	3	38	21	30
西北五圏域 非初回受診者数				0	0	0	1	0	0	0	1	1	1
西北五圏域 受診歴不明				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
西北五圏域 受診率				0.0%	0.0%	0.1%	0.1%	0.1%	0.0%		0.1%	0.1%	0.1%
青森県 対象者数				86,572	84,203	91,066	99,210	109,940	218,817		689,808	361,051	470,991
青森県 受診者数				534	437	954	828	1,567	657	802	5,779	2,753	4,320
青森県 初回受診者数				444	340	748	578	1,038	462	610	4,220	2,110	3,148
青森県 非初回受診者数				76	91	200	241	512	185	175	1,480	608	1,120
青森県 受診歴不明				14	6	6	9	17	10	17	79	35	52
青森県 受診率				0.6%	0.5%	1.0%	0.8%	1.4%	0.7%		0.8%	0.8%	0.9%

※初回受診者＝過去3年間に受診歴がない者

※非初回受診者＝過去3年間に受診歴がある者



※受診者数はR3年度の受診者数である。

※初回受診者数と非初回受診者数の合計が受診者数と一致しない、または初回受診者数と非初回受診者数を計上していない市町村があるため、そのような場合は受診歴不明として計上している。

※対象者数から受診者数を除いた人数を未受診者数と定義しているが、実際は職場や人間ドック等でがん検診を受診している者が含まれている。

# 個別事項「プロセス指標」（別紙5とは対象年度が異なる点に留意）

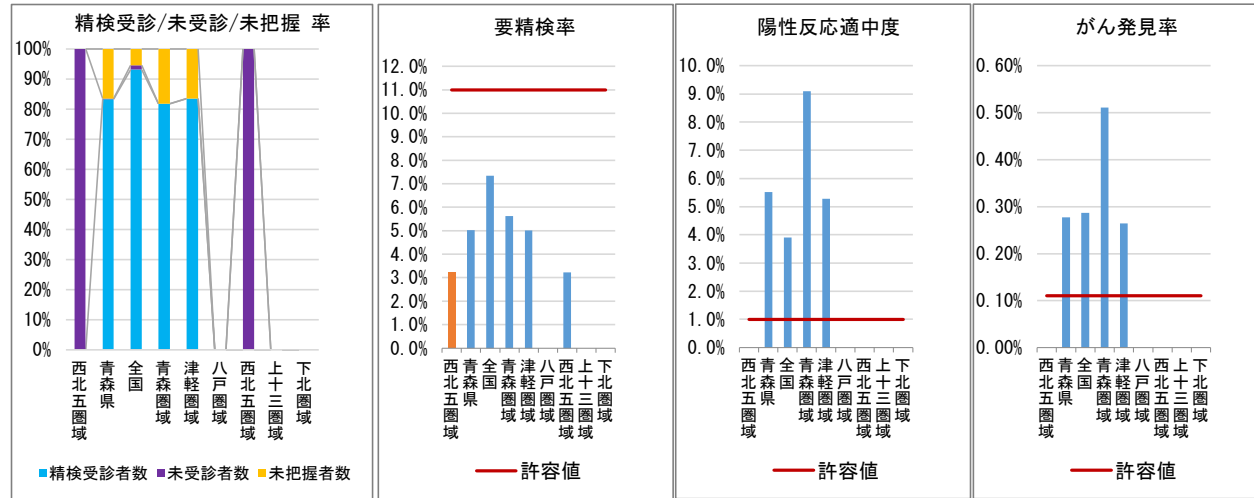
別紙5\_参考2

がん検診に関して市町村等が取り組むべき事項  
[令和6年2月20日付け青が生第1724号通知]

## 平成30～令和2年度 胃がん検診（胃部内視鏡）プロセス指標－受診率を除く－

自治体名	西北五圏域
------	-------

### 1. 胃がん検診（胃部内視鏡）のプロセス指標（受診率を除く）



※許容値以下で極端な高低がないこと ※許容値以上で極端な高低がないこと ※許容値以上で極端な高低がないこと

### <胃がん検診（胃部内視鏡）のプロセス指標 [平成30～令和2年度 50歳～74歳 男女計]>

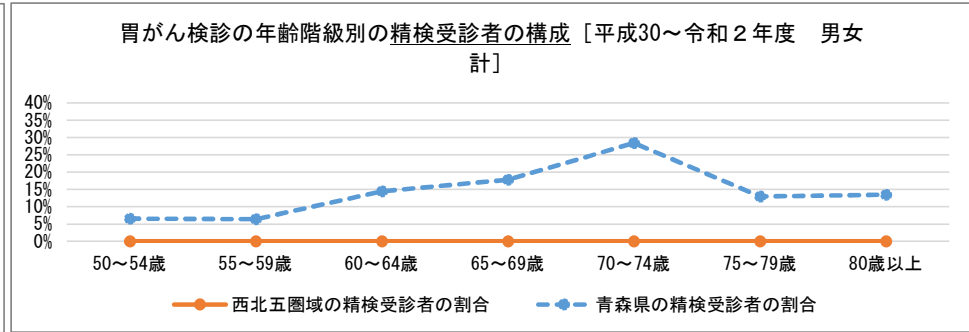
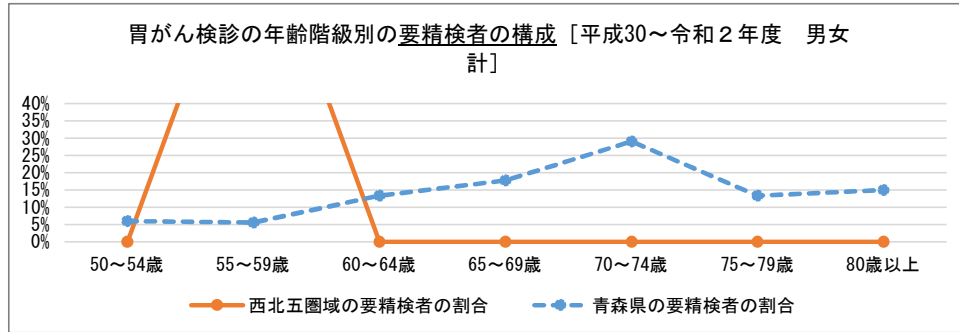
区分	西北五圏域	青森県	全国	青森圏域	津軽圏域	八戸圏域	西北五圏域	上十三圏域	下北圏域	許容値
受診者数	31	10,457	2,164,391	587	9,836	0	31	0	3	—
要精検者数	1	526	159,037	33	492	0	1	0	0	—
未把握者数	0	87	8,422	6	81	0	0	0	0	—
未受診者数	1	1	2,320	0	0	0	1	0	0	—
精検受診者数	0	438	144,969	27	411	0	0	0	0	—
がんであった者	0	29	6,211	3	26	0	0	0	0	—
要精検率	3.2%	5.0%	7.3%	5.6%	5.0%	0.0%	3.2%	0.0%	0.0%	11.0% 以下
精検受診率	0.0%	83.3%	91.2%	81.8%	83.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	70% 以上
未受診率	100.0%	0.2%	1.5%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	20% 以下
未把握率	0.0%	16.5%	5.3%	18.2%	16.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10% 以下
陽性反応適中度	0.0%	5.5%	3.9%	9.1%	5.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.0% 以上
がん発見率	0.00%	0.28%	0.29%	0.51%	0.26%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.11% 以上

[計算方法] ●要精検率=精検受診者数÷受診者数、●精検受診率=精検受診者数÷要精検者数、●未受診率=未受診者数÷要精検者数、●未把握率=未把握者数÷要精検者数、●陽性反応適中度=がんであった者÷要精検者数、●がん発見率=がんであった者÷受診者数

(出典：R元～R3年度地域保健・健康増進事業報告)

指標の意義・一般的な対策	
精検受診率 未受診率 未把握率	<ul style="list-style-type: none"> <li>要精検者の精検受診状況を測る指標です。</li> <li>精検受診率が低ければ、死亡率減少につながらないため、検診受診率よりも精検受診率向上が優先されます。また、100%に近くなければ、がん発見率等を適切に評価できません。</li> <li>精検結果回収の仕組みを整備し、精検未受診・未把握を適切に分類して、精検受診勧奨に取り組むことで、精検受診率100%に向けて取り組む必要があります。</li> </ul>
要精検率	<ul style="list-style-type: none"> <li>検診において、精密検査の対象者が適切に絞られているかを測る指標です。対象集団に応じて適切な範囲があり、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となります。</li> <li>要精検率が高い場合は有病率の高い集団に偏っていることや偽陽性が多いことが、低い場合は有病率の低い集団に偏っていることや偽陰性が多いことが原因と予想されるため検討が必要となります。</li> </ul>
陽性反応適中度	<ul style="list-style-type: none"> <li>検診において、効率よくがんが発見されたかを測る指標です。基本的に高いことが望ましいですが、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となります。</li> <li>陽性反応適中度が高い場合は有病率の高い集団に偏っていることが、低い場合は有病率の低い集団に偏っていることや偽陽性が多いことが原因と予想されるため検討が必要となります。</li> </ul>
がん発見率	<ul style="list-style-type: none"> <li>検診において、適正な頻度でがんを発見できたかを測る指標です。基本的に高いことが望ましいですが、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となります。</li> <li>がん発見率が高い場合は有病率の高い集団に偏っていることが、低い場合は有病率の低い集団に偏っていることや偽陰性が多いことが原因と予想されるため検討が必要となります。</li> </ul>

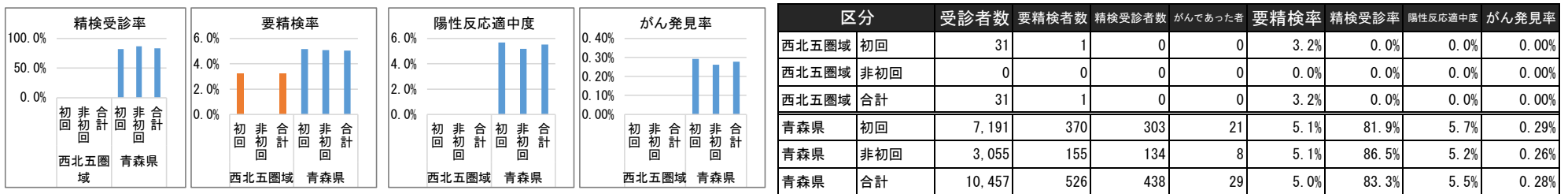
2. 胃がん検診（胃部内視鏡）の年齢階級別・受診歴別・検診方式別のプロセス指標



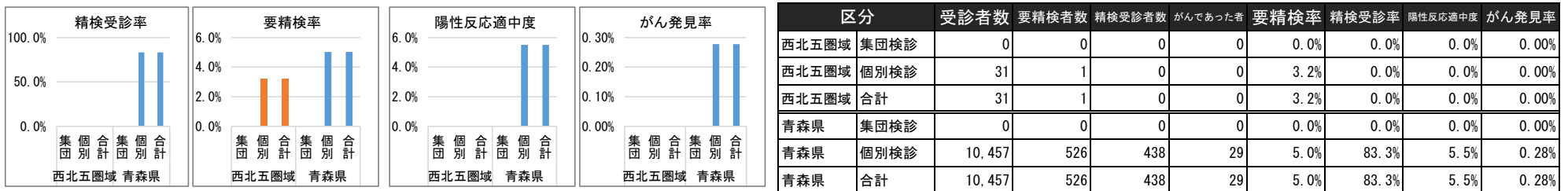
<胃がん検診（胃部内視鏡）の年齢階級別の要精検者数・精検受診者数・精検受診率 [平成30～令和2年度 男女計]>

区分	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上	合計	50～74歳
西北五圏域 要精検者数			0	1	0	0	0	0	0	1	1
西北五圏域 精検受診者数			0	0	0	0	0	0	0	0	0
西北五圏域 精検受診率			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
青森県 要精検者数			44	41	98	130	213	98	110	734	526
青森県 精検受診者数			39	38	86	106	169	77	80	595	438
青森県 精検受診率			88.6%	92.7%	87.8%	81.5%	79.3%	78.6%	72.7%	81.1%	83.3%

<胃がん検診（胃部内視鏡）の受診歴別のプロセス指標 [平成30～令和2年度 50歳～74歳 男女計]>



<胃がん検診（胃部内視鏡）の検診方式別のプロセス指標 [平成30～令和2年度 50歳～74歳 男女計]>



(出典：R元～R3年度地域保健・健康増進事業報告)



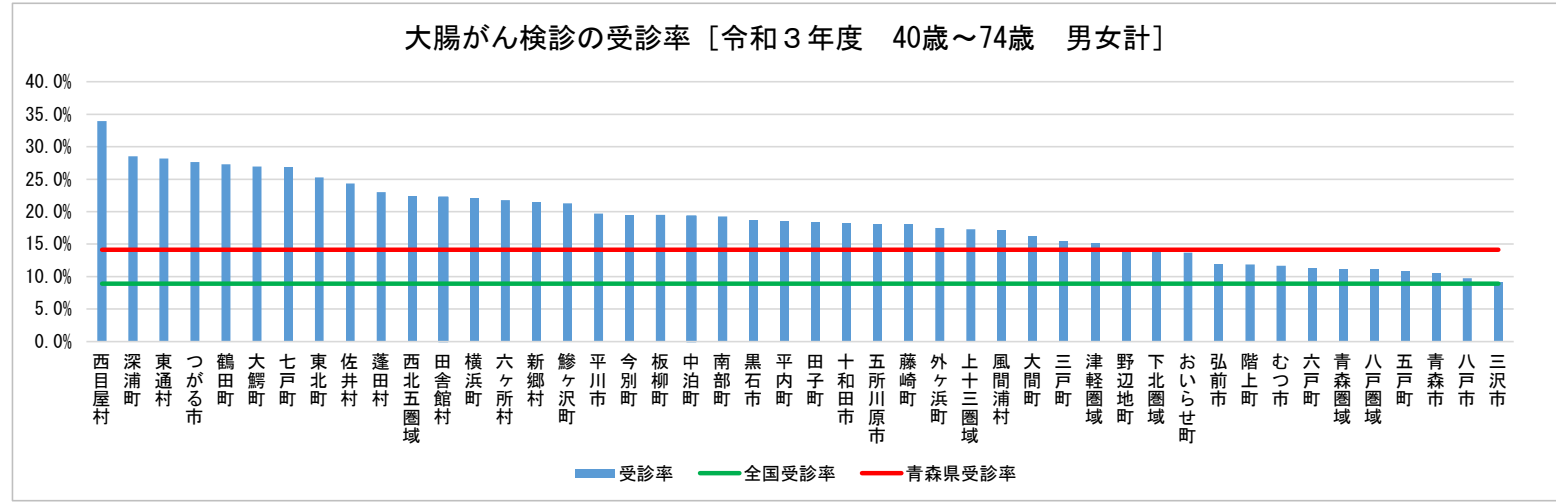
# 個別事項「プロセス指標」

がん検診に関して市町村等が取り組むべき事項  
 [令和6年2月20日付け青が生第1724号通知]

## 令和3年度 大腸がん検診プロセス指標 - 受診率 -

自治体名	西北五圏域
------	-------

### 1. 大腸がん検診の受診率



**指標の意義・一般的な対策**

- ・受診率は、高い方が望ましい指標です。精度管理により検診の質を高めた上で、受診率を上げていく必要があります。
- ・性別・年齢階級別／検診機関別／検診歴別（初回・非初回別）の集計・分析は、課題を検討し、対策を講じるうえで必要となるため、台帳の電子システム化等により行えるようにすることが必要です。
- ・特定の年齢層の受診率が低い場合や、初回受診者が少ない場合、個別の受診勧奨・再勧奨の実施や、検診の提供体制（キャパシティ、利便性等）の改善について検討が必要です。

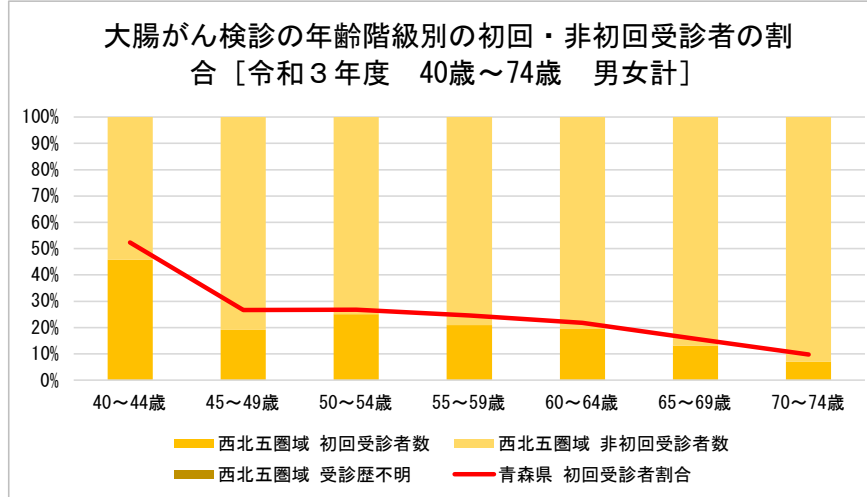
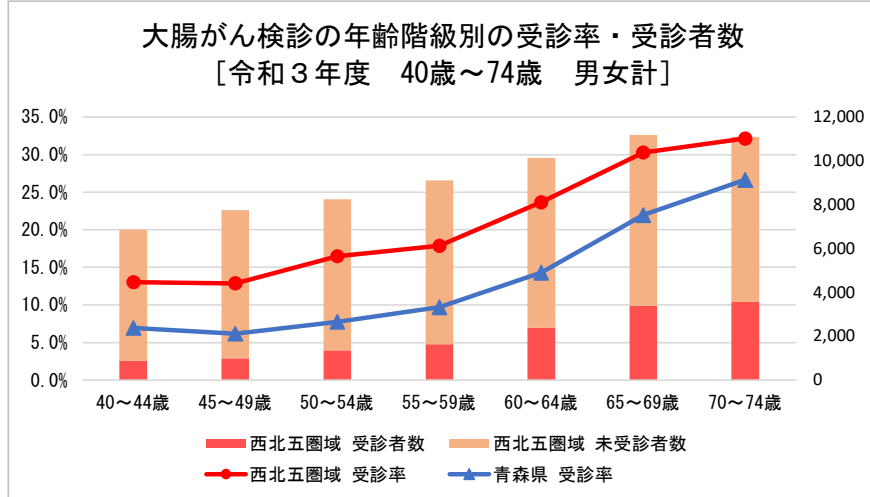
### <大腸がん検診の受診率 [令和3年度 40歳～74歳 男女計] >

区分	全国	青森県	青森圏域	津軽圏域	八戸圏域	西北五圏域	上十三圏域	下北圏域	青森市	弘前市	八戸市	黒石市	五所川原市	十和田市	三沢市	むつ市	つがる市	平川市
受診率	8.9%	14.2%	11.2%	15.2%	11.2%	22.4%	17.3%	13.9%	10.6%	11.9%	9.8%	18.8%	18.1%	18.3%	9.2%	11.7%	27.7%	19.7%
順位	—	—	—	—	—	—	—	—	38位	33位	39位	21位	25位	24位	40位	35位	4位	16位
受診者数	5,344,278	89,673	17,179	21,019	17,698	14,238	14,517	5,022	15,026	9,915	11,002	3,106	4,901	5,657	1,647	3,320	4,384	3,032
対象者数	59,887,850	633,649	153,306	138,443	158,411	63,604	83,796	36,089	141,938	83,316	112,660	16,532	27,091	30,992	18,000	28,432	15,853	15,399
区分	平内町	今別町	蓬田村	外ヶ浜町	鱒ヶ沢町	深浦町	西目屋村	藤崎町	大鰐町	田舎館村	板柳町	鶴田町	中泊町	野辺地町	七戸町	六戸町	横浜町	東北町
受診率	18.6%	19.5%	23.0%	17.5%	21.2%	28.6%	33.9%	18.1%	27.0%	22.2%	19.5%	27.3%	19.3%	14.2%	26.8%	11.3%	22.1%	25.3%
順位	22位	17位	10位	27位	15位	2位	1位	26位	6位	11位	18位	5位	19位	31位	7位	36位	12位	8位
受診者数	1,070	244	317	522	1,051	1,139	209	1,329	1,279	838	1,311	1,699	1,064	922	2,097	607	469	2,098
対象者数	5,751	1,249	1,378	2,990	4,946	3,988	616	7,357	4,742	3,769	6,712	6,221	5,505	6,511	7,812	5,371	2,118	8,301
区分	六ヶ所村	おいらせ町	大間町	東通村	風間浦村	佐井村	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村						
受診率	21.7%	13.7%	16.3%	28.2%	17.1%	24.4%	15.5%	10.8%	18.4%	19.3%	11.9%	21.4%						
順位	13位	32位	29位	3位	28位	9位	30位	37位	23位	20位	34位	14位						
受診者数	1,020	1,707	429	874	163	236	756	928	497	1,718	844	246						
対象者数	4,691	12,440	2,632	3,102	954	969	4,872	8,555	2,701	8,922	7,113	1,148						

[受診率の計算方法について]  
 受診者数÷対象者数=受診率  
 ※他のプロセス指標に合わせ、75歳未満の受診率を計算しているため他の統計の受診率と異なる。

(出典：R3年度地域保健・健康増進事業報告) ※対象者数(分母)は対象年齢の全住民で、受診者数(分子)は市町村事業の受診者数であり、職域や人間ドックで受診している者は含まれていない。

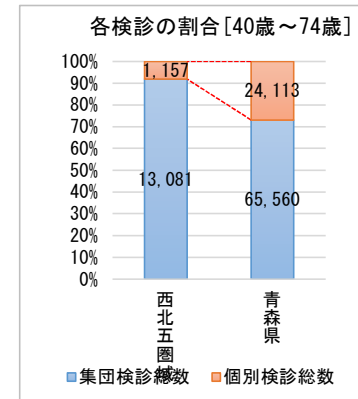
2. 大腸がん検診の受診者の状況



<大腸がん検診の年齢階級別の受診者数・受診率 [令和3年度 男女計] >

区分		40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上	合計	40～69歳	40～74歳
西北五圏域	対象者数	6,873	7,759	8,248	9,104	10,140	11,189	11,098	25,838		90,249	53,313	64,411
西北五圏域	受診者数	897	999	1,361	1,627	2,399	3,389	3,566	2,294	2,001	18,533	10,672	14,238
西北五圏域	初回受診者数	411	191	342	340	468	449	254	150	161	2,766	2,201	2,455
西北五圏域	非初回受診者数	486	808	1,019	1,287	1,931	2,940	3,312	2,144	1,840	15,767	8,471	11,783
西北五圏域	受診歴不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
西北五圏域	受診率	13.1%	12.9%	16.5%	17.9%	23.7%	30.3%	32.1%	16.6%		20.5%	20.0%	22.1%
青森県	対象者数	75,375	87,278	86,572	84,203	91,066	99,215	109,940	218,817		852,466	523,709	633,649
青森県	受診者数	5,235	5,411	6,716	8,182	13,018	21,804	29,307	17,997	16,795	124,465	60,366	89,673
青森県	初回受診者数	2,737	1,440	1,799	2,007	2,824	3,436	2,855	1,707	1,695	20,500	14,243	17,098
青森県	非初回受診者数	2,460	3,922	4,856	6,125	10,101	18,211	26,297	16,215	15,027	103,214	45,675	71,972
青森県	受診歴不明	38	49	61	50	93	157	155	75	73	751	448	603
青森県	受診率	6.9%	6.2%	7.8%	9.7%	14.3%	22.0%	26.7%	15.9%		14.6%	11.5%	14.2%

※初回受診者＝過去3年間に受診歴がない者  
 ※非初回受診者＝過去3年間に受診歴がある者



※受診者数はR3年度の受診者数である。

※初回受診者数と非初回受診者数の合計が受診者数と一致しない、または初回受診者数と非初回受診者数を計上していない市町村があるため、そのような場合は受診歴不明として計上している。

※対象者数から受診者数を除いた人数を未受診者数と定義しているが、実際は職場や人間ドック等でがん検診を受診している者が含まれている。

※50歳代は大腸がん検診モデル事業の影響により県平均の受診率や初回受診者割合が通常よりも高い。

(出典：R3年度地域保健・健康増進事業報告)

# 個別事項「プロセス指標」 (別紙6とは対象年度が異なる点に留意)

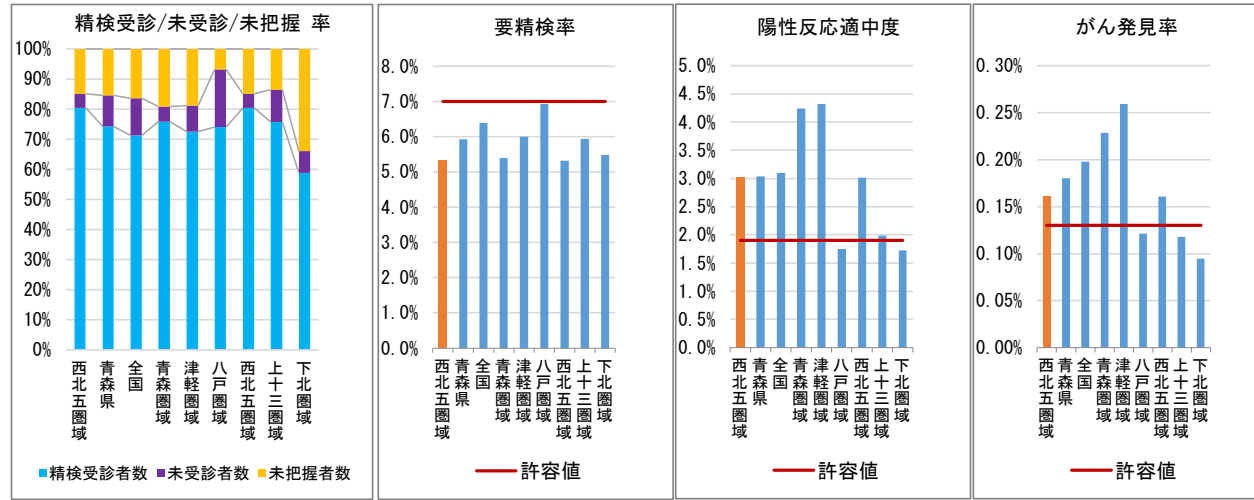
別紙6\_参考2

がん検診に関して市町村等が取り組むべき事項  
[令和6年2月20日付け青が生第1724号通知]

## 平成30～令和2年度 大腸がん検診プロセス指標 - 受診率を除く -

自治体名	西北五圏域
------	-------

### 1. 大腸がん検診のプロセス指標 (受診率を除く)



※許容値以下で極端な高低がないこと ※許容値以上で極端な高低がないこと ※許容値以上で極端な高低がないこと

### <大腸がん検診のプロセス指標 [平成30～令和2年度 40歳～74歳 男女計]>

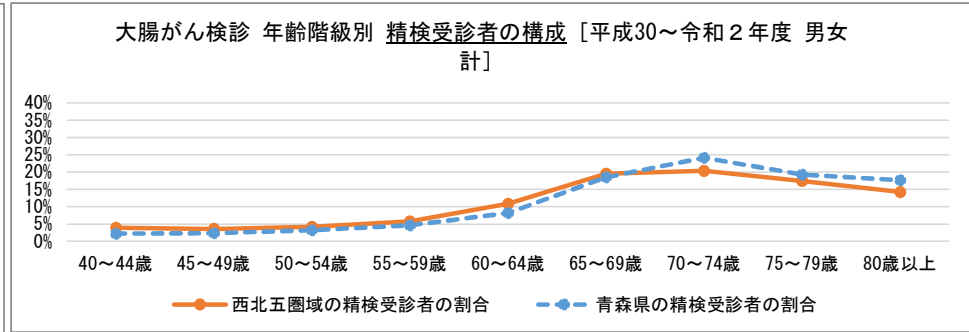
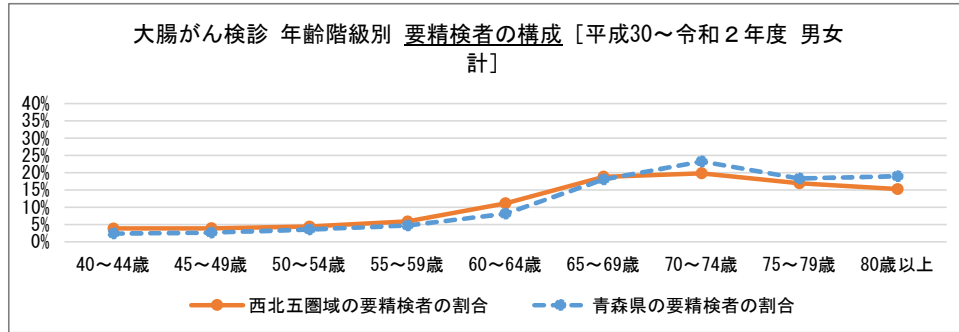
区分	西北五圏域	青森県	全国	青森圏域	津軽圏域	八戸圏域	西北五圏域	上十三圏域	下北圏域	許容値
受診者数	42,291	286,309	16,681,616	56,845	70,246	58,605	42,291	42,468	15,854	—
要精検者数	2,253	16,986	1,066,188	3,065	4,215	4,061	2,253	2,522	870	—
未把握者数	335	2,627	174,309	588	794	274	335	340	296	—
未受診者数	106	1,739	131,744	153	363	781	106	274	62	—
精検受診者数	1,812	12,620	760,135	2,324	3,058	3,006	1,812	1,908	512	—
がんであった者	68	516	33,031	130	182	71	68	50	15	—
要精検率	5.3%	5.9%	6.4%	5.4%	6.0%	6.9%	5.3%	5.9%	5.5%	7.0% 以下
精検受診率	80.4%	74.3%	71.3%	75.8%	72.6%	74.0%	80.4%	75.7%	58.9%	70% 以上
未受診率	4.7%	10.2%	12.4%	5.0%	8.6%	19.2%	4.7%	10.9%	7.1%	20% 以下
未把握率	14.9%	15.5%	16.3%	19.2%	18.8%	6.7%	14.9%	13.5%	34.0%	10% 以下
陽性反応適中度	3.0%	3.0%	3.1%	4.2%	4.3%	1.7%	3.0%	2.0%	1.7%	1.9% 以上
がん発見率	0.16%	0.18%	0.20%	0.23%	0.26%	0.12%	0.16%	0.12%	0.09%	0.13% 以上

指標の意義・一般的な対策	
精検受診率 未受診率 未把握率	<ul style="list-style-type: none"> <li>要精検者の精検受診状況を測る指標です。</li> <li>精検受診率が低ければ、死亡率減少につながらないため、検診受診率よりも精検受診率向上が優先されます。また、100%に近くなければ、がん発見率等を適切に評価できません。</li> <li>精検結果回収の仕組みを整備し、精検未受診・未把握を適切に分類して、精検受診勧奨に取り組むことで、精検受診率100%に向けて取り組む必要があります。</li> </ul>
要精検率	<ul style="list-style-type: none"> <li>検診において、精密検査の対象者が適切に絞られているかを測る指標です。対象集団に応じて適切な範囲があり、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となります。</li> <li>要精検率が高い場合は有病率の高い集団に偏っていることや偽陽性が多いことが、低い場合は有病率の低い集団に偏っていることや偽陰性が多いことが原因と予想されるため検討が必要となります。</li> </ul>
陽性反応適中度	<ul style="list-style-type: none"> <li>検診において、効率よくがんが発見されたかを測る指標です。基本的に高いことが望ましいですが、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となります。</li> <li>陽性反応適中度が高い場合は有病率の高い集団に偏っていることが、低い場合は有病率の低い集団に偏っていることや偽陽性が多いことが原因と予想されるため検討が必要となります。</li> </ul>
がん発見率	<ul style="list-style-type: none"> <li>検診において、適正な頻度でがんを発見できたかを測る指標です。基本的に高いことが望ましいですが、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となります。</li> <li>がん発見率が高い場合は有病率の高い集団に偏っていることが、低い場合は有病率の低い集団に偏っていることや偽陰性が多いことが原因と予想されるため検討が必要となります。</li> </ul>

[計算方法] ●要精検率=精検受診者数÷受診者数、●精検受診率=精検受診者数÷要精検者数、●未受診率=未受診者数÷要精検者数、●未把握率=未把握者数÷要精検者数、●陽性反応適中度=がんであった者÷要精検者数、●がん発見率=がんであった者÷受診者数

(出典：R元～R3年度地域保健・健康増進事業報告)

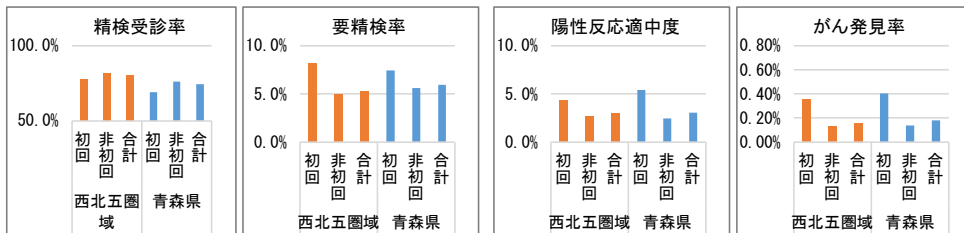
2. 大腸がん検診の年齢階級別・受診歴別・検診方式別のプロセス指標



<大腸がん検診の年齢階級別の要精検者数・精検受診者数・精検受診率 [平成30～令和2年度 男女計] >

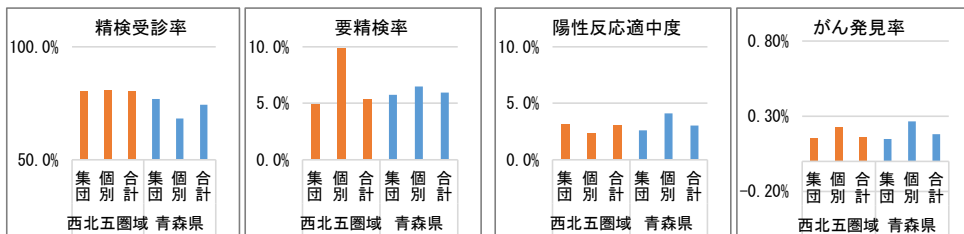
区分	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上	合計	40～74歳
西北五圏域 要精検者数	128	131	147	196	369	624	658	560	505	3,318	2,253
西北五圏域 精検受診者数	104	95	111	153	289	520	540	463	377	2,652	1,812
西北五圏域 精検受診率	81.3%	72.5%	75.5%	78.1%	78.3%	83.3%	82.1%	82.7%	74.7%	79.9%	80.4%
青森県 要精検者数	652	708	976	1,283	2,192	4,887	6,288	4,959	5,126	27,071	16,986
青森県 精検受診者数	442	462	638	917	1,630	3,705	4,826	3,852	3,525	19,997	12,620
青森県 精検受診率	67.8%	65.3%	65.4%	71.5%	74.4%	75.8%	76.7%	77.7%	68.8%	73.9%	74.3%

<大腸がん検診の受診歴別のプロセス指標 [平成30～令和2年度 40歳～74歳 男女計] >



区分	受診者数	要精検者数	精検受診者数	がんであった者	要精検率	精検受診率	陽性反応適中度	がん発見率
西北五圏域 初回	5,364	439	341	19	8.2%	77.7%	4.3%	0.35%
西北五圏域 非初回	36,927	1,814	1,471	49	4.9%	81.1%	2.7%	0.13%
西北五圏域 合計	42,291	2,253	1,812	68	5.3%	80.4%	3.0%	0.16%
青森県 初回	48,732	3,623	2,501	196	7.4%	69.0%	5.4%	0.40%
青森県 非初回	230,990	13,002	9,874	319	5.6%	75.9%	2.5%	0.14%
青森県 合計	286,309	16,986	12,620	516	5.9%	74.3%	3.0%	0.18%

<大腸がん検診の検診方式別のプロセス指標 [平成30～令和2年度 40歳～74歳 男女計] >



区分	受診者数	要精検者数	精検受診者数	がんであった者	要精検率	精検受診率	陽性反応適中度	がん発見率
西北五圏域 集団検診	38,804	1,909	1,535	60	4.9%	80.4%	3.1%	0.15%
西北五圏域 個別検診	3,487	344	277	8	9.9%	80.5%	2.3%	0.23%
西北五圏域 合計	42,291	2,253	1,812	68	5.3%	80.4%	3.0%	0.16%
青森県 集団検診	208,397	11,937	9,177	309	5.7%	76.9%	2.6%	0.15%
青森県 個別検診	77,912	5,049	3,443	207	6.5%	68.2%	4.1%	0.27%
青森県 合計	286,309	16,986	12,620	516	5.9%	74.3%	3.0%	0.18%

(出典：R元～R3年度地域保健・健康増進事業報告)

# 個別事項「プロセス指標」

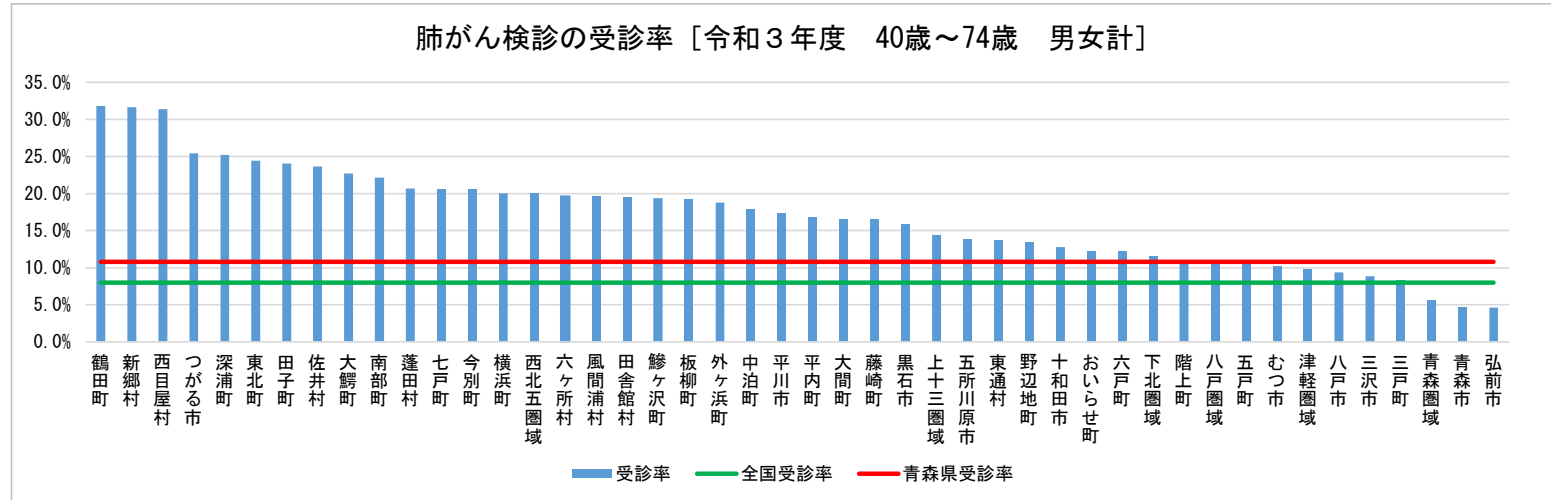
別紙7\_参考1

がん検診に関して市町村等が取り組むべき事項  
[令和6年2月20日付け青が生第1724号通知]

## 令和3年度 肺がん検診プロセス指標 - 受診率 -

自治体名	西北五圏域
------	-------

### 1. 肺がん検診の受診率



**指標の意義・一般的な対策**

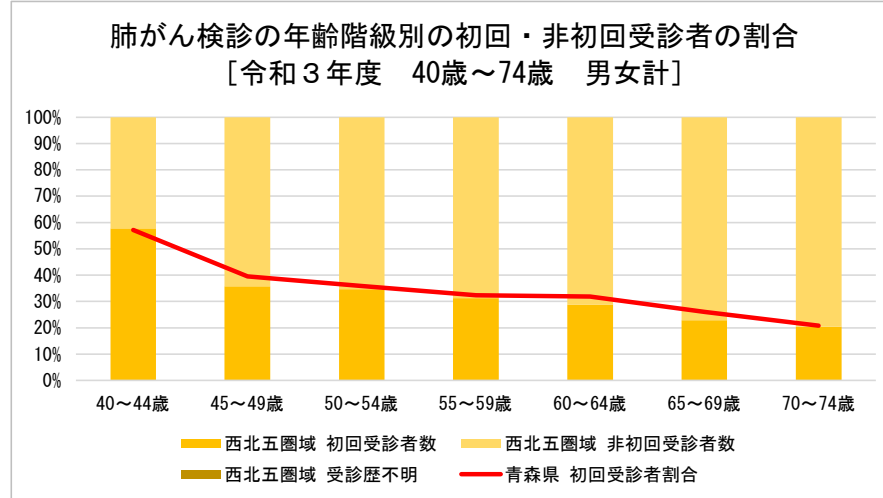
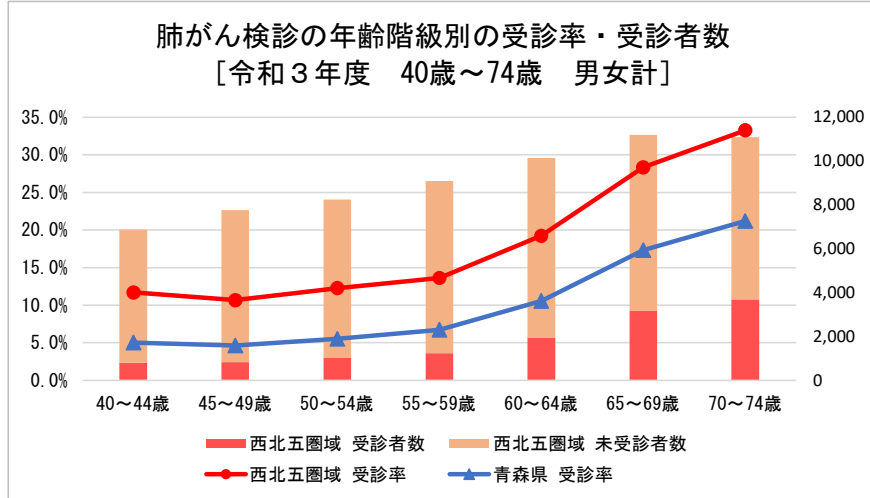
- ・受診率は、高い方が望ましい指標です。精度管理により検診の質を高めた上で、受診率を上げていく必要があります。
- ・性別・年齢階級別/検診機関別/検診歴別(初回・非初回別)の集計・分析は、課題を検討し、対策を講じるうえで必要となるため、台帳の電子システム化等により行えるようにすることが必要です。
- ・特定の年齢層の受診率が低い場合や、初回受診者が少ない場合、個別の受診勧奨・再勧奨の実施や、検診の提供体制(キャパシティ、利便性等)の改善について検討が必要です。

### <肺がん検診の受診率 [令和3年度 40歳～74歳 男女計] >

区分	全国	青森県	青森圏域	津軽圏域	八戸圏域	西北五圏域	上十三圏域	下北圏域	青森市	弘前市	八戸市	黒石市	五所川原市	十和田市	三沢市	むつ市	つがる市	平川市
受診率	8.0%	10.8%	5.7%	9.9%	10.8%	20.0%	14.4%	11.5%	4.7%	4.6%	9.4%	15.9%	13.8%	12.8%	8.9%	10.1%	25.4%	17.4%
順位	—	—	—	—	—	—	—	—	39位	40位	36位	26位	27位	30位	37位	35位	4位	22位
受診者数	4,784,430	68,407	8,707	13,646	17,136	12,697	12,063	4,158	6,636	3,844	10,553	2,621	3,745	3,957	1,598	2,882	4,027	2,673
対象者数	59,884,152	633,619	153,306	138,443	158,411	63,604	83,796	36,059	141,938	83,316	112,660	16,532	27,091	30,992	18,000	28,402	15,853	15,399
区分	平内町	今別町	蓬田村	外ヶ浜町	鱈ヶ沢町	深浦町	西目屋村	藤崎町	大鰐町	田舎館村	板柳町	鶴田町	中泊町	野辺地町	七戸町	六戸町	横浜町	東北町
受診率	16.8%	20.5%	20.7%	18.8%	19.3%	25.2%	31.3%	16.5%	22.7%	19.5%	19.2%	31.8%	17.9%	13.4%	20.6%	12.2%	20.0%	24.4%
順位	23位	13位	11位	20位	18位	5位	3位	25位	9位	17位	19位	1位	21位	29位	12位	32位	14位	6位
受診者数	969	256	285	561	957	1,005	193	1,212	1,077	735	1,291	1,980	983	872	1,612	653	424	2,025
対象者数	5,751	1,249	1,378	2,990	4,946	3,988	616	7,357	4,742	3,769	6,712	6,221	5,505	6,511	7,812	5,371	2,118	8,301
区分	六ヶ所村	おいらせ町	大間町	東通村	風間浦村	佐井村	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村						
受診率	19.7%	12.2%	16.5%	13.7%	19.6%	23.6%	8.3%	10.4%	24.0%	22.2%	10.9%	31.6%	[受診率の計算方法について]					
順位	15位	31位	24位	28位	16位	8位	38位	34位	7位	10位	33位	2位	受診者数÷対象者数=受診率					
受診者数	922	1,522	435	425	187	229	404	892	649	1,977	776	363	※他のプロセス指標に合わせ、75歳未満の受診率を計算					
対象者数	4,691	12,440	2,632	3,102	954	969	4,872	8,555	2,701	8,922	7,113	1,148	しているため他の統計の受診率と異なる。					

(出典：R3年度地域保健・健康増進事業報告) ※対象者数(分母)は対象年齢の全住民で、受診者数(分子)は市町村事業の受診者数であり、職域や人間ドックで受診している者は含まれていない。

2. 肺がん検診の受診者の状況



<肺がん検診の年齢階級別の受診者数・受診率 [令和3年度 男女計]>

区分		40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上	合計	40～69歳	40～74歳
西北五圏域	対象者数	6,873	7,759	8,248	9,104	10,140	11,189	11,098	25,748		90,159	53,313	64,411
西北五圏域	受診者数	804	828	1,013	1,240	1,950	3,171	3,691	2,377	2,161	17,235	9,006	12,697
西北五圏域	初回受診者数	464	296	352	387	562	726	753	460	470	4,470	2,787	3,540
西北五圏域	非初回受診者数	340	532	661	853	1,388	2,445	2,938	1,917	1,691	12,765	6,219	9,157
西北五圏域	受診歴不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
西北五圏域	受診率	11.7%	10.7%	12.3%	13.6%	19.2%	28.3%	33.3%	17.6%		19.1%	16.9%	19.7%
青森県	対象者数	75,375	87,278	86,572	84,203	91,066	99,215	109,910	218,817		852,436	523,709	633,619
青森県	受診者数	3,796	4,040	4,770	5,673	9,635	17,204	23,289	13,447	11,454	93,308	45,118	68,407
青森県	初回受診者数	2,168	1,596	1,711	1,835	3,073	4,465	4,840	2,826	2,471	24,985	14,848	19,688
青森県	非初回受診者数	1,584	2,400	3,003	3,786	6,458	12,578	18,271	10,539	8,832	67,451	29,809	48,080
青森県	受診歴不明	44	44	56	52	104	161	178	82	151	872	461	639
青森県	受診率	5.0%	4.6%	5.5%	6.7%	10.6%	17.3%	21.2%	11.4%		10.9%	8.6%	10.8%

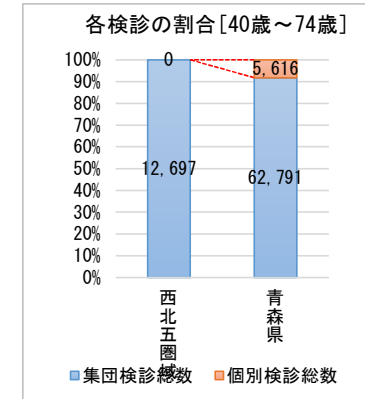
※受診者数はR3年度の受診者数である。

※初回受診者数と非初回受診者数の合計が受診者数と一致しない、または初回受診者数と非初回受診者数を計上していない市町村があるため、そのような場合は受診歴不明として計上している。

※対象者数から受診者数を除いた人数を未受診者数と定義しているが、実際は職場や人間ドック等でがん検診を受診している者が含まれている。

※初回受診者＝前年に受診歴がない者

※非初回受診者＝前年に受診歴がある者





# 個別事項「プロセス指標」 (別紙7とは対象年度が異なる点に留意)

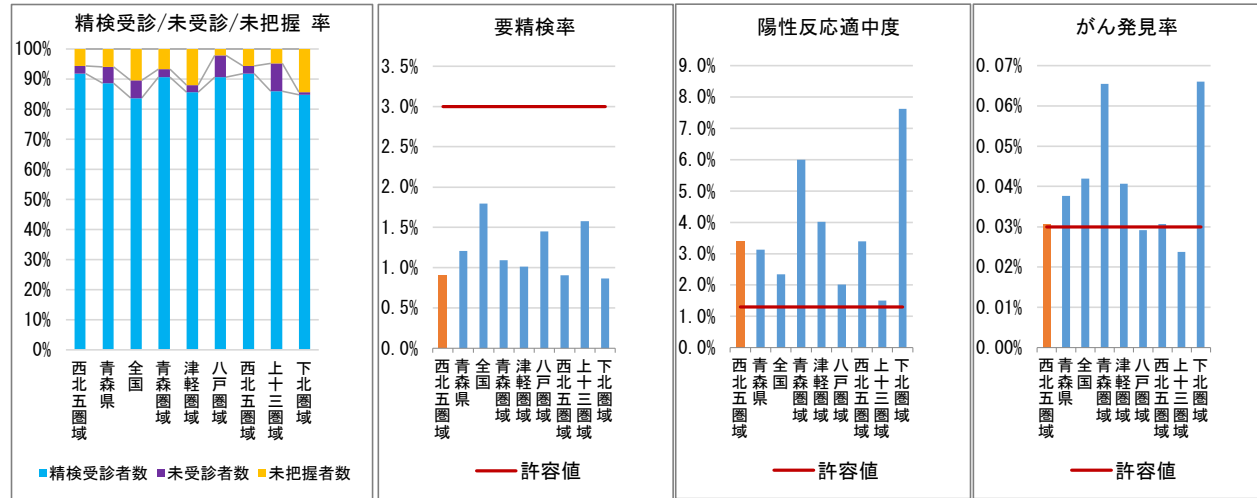
別紙7\_参考2

がん検診に関して市町村等が取り組むべき事項  
[令和6年2月20日付け青が生第1724号通知]

## 平成30～令和2年度 肺がん検診プロセス指標 - 受診率を除く -

自治体名	西北五圏域
------	-------

### 1. 肺がん検診のプロセス指標 (受診率を除く)



※許容値以下で極端な高低がないこと ※許容値以上で極端な高低がないこと ※許容値以上で極端な高低がないこと

### <肺がん検診のプロセス指標 [平成30～令和2年度 40歳～74歳 男女計]>

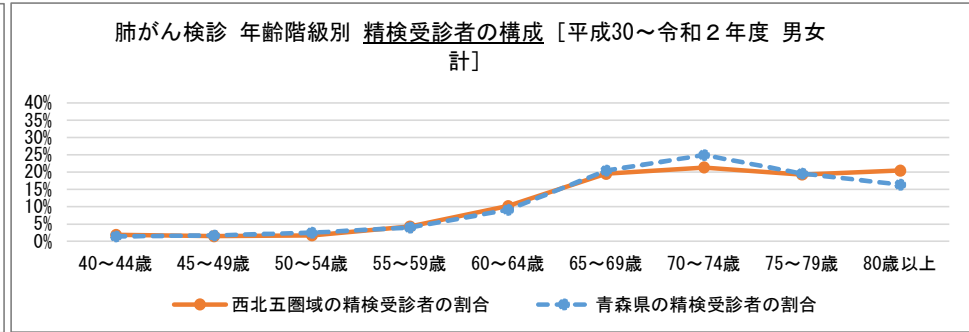
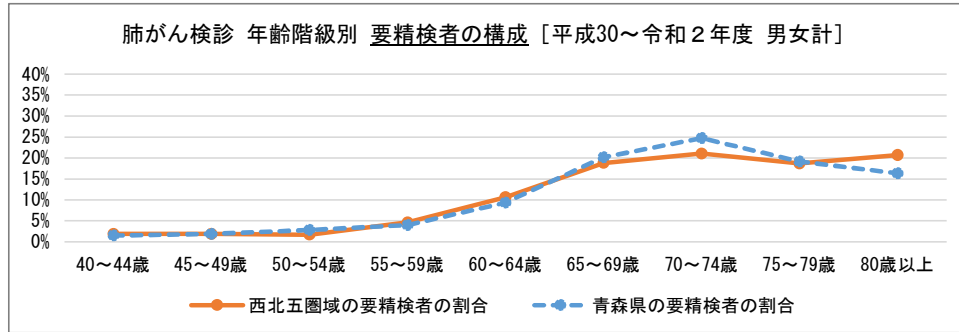
区分	西北五圏域	青森県	全国	青森圏域	津軽圏域	八戸圏域	西北五圏域	上十三圏域	下北圏域	許容値
受診者数	39,121	223,159	14,968,030	27,492	46,697	58,284	39,121	37,943	13,622	—
要精検者数	354	2,689	268,694	300	473	846	354	598	118	—
未把握者数	20	161	28,040	20	57	18	20	29	17	—
未受診者数	9	145	15,851	8	11	61	9	55	1	—
精検受診者数	325	2,383	224,803	272	405	767	325	514	100	—
がんであった者	12	84	6,285	18	19	17	12	9	9	—
要精検率	0.9%	1.2%	1.8%	1.1%	1.0%	1.5%	0.9%	1.6%	0.9%	3.0% 以下
精検受診率	91.8%	88.6%	83.7%	90.7%	85.6%	90.7%	91.8%	86.0%	84.7%	70% 以上
未受診率	2.5%	5.4%	5.9%	2.7%	2.3%	7.2%	2.5%	9.2%	0.8%	20% 以下
未把握率	5.6%	6.0%	10.4%	6.7%	12.1%	2.1%	5.6%	4.8%	14.4%	10% 以下
陽性反応適中度	3.4%	3.1%	2.3%	6.0%	4.0%	2.0%	3.4%	1.5%	7.6%	1.3% 以上
がん発見率	0.03%	0.04%	0.04%	0.07%	0.04%	0.03%	0.03%	0.02%	0.07%	0.03% 以上

[計算方法] ●要精検率=精検受診者数÷受診者数、●精検受診率=精検受診者数÷要精検者数、●未受診率=未受診者数÷要精検者数、●未把握率=未把握者数÷要精検者数、●陽性反応適中度=がんであった者÷要精検者数、●がん発見率=がんであった者÷受診者数

(出典：R元～R3年度地域保健・健康増進事業報告)

指標の意義・一般的な対策	
精検受診率 未受診率 未把握率	<ul style="list-style-type: none"> <li>要精検者の精検受診状況を測る指標です。</li> <li>精検受診率が低ければ、死亡率減少につながらないため、検診受診率よりも精検受診率向上が優先されます。また、100%に近くなければ、がん発見率等を適切に評価できません。</li> <li>精検結果回収の仕組みを整備し、精検未受診・未把握を適切に分類して、精検受診勧奨に取り組むことで、精検受診率100%に向けて取り組む必要があります。</li> </ul>
要精検率	<ul style="list-style-type: none"> <li>検診において、精密検査の対象者が適切に絞られているかを測る指標です。対象集団に応じて適切な範囲があり、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となります。</li> <li>要精検率が高い場合は有病率の高い集団に偏っていることや偽陽性が多いことが、低い場合は有病率の低い集団に偏っていることや偽陰性が多いことが原因と予想されるため検討が必要となります。</li> </ul>
陽性反応適中度	<ul style="list-style-type: none"> <li>検診において、効率よくがんが発見されたかを測る指標です。基本的に高いことが望ましいですが、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となります。</li> <li>陽性反応適中度が高い場合は有病率の高い集団に偏っていることが、低い場合は有病率の低い集団に偏っていることや偽陽性が多いことが原因と予想されるため検討が必要となります。</li> </ul>
がん発見率	<ul style="list-style-type: none"> <li>検診において、適正な頻度でがんを発見できたかを測る指標です。基本的に高いことが望ましいですが、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となります。</li> <li>がん発見率が高い場合は有病率の高い集団に偏っていることが、低い場合は有病率の低い集団に偏っていることや偽陰性が多いことが原因と予想されるため検討が必要となります。</li> </ul>

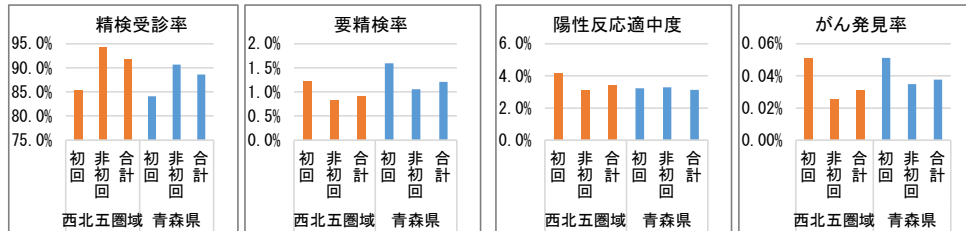
2. 肺がん検診の年齢階級別・受診歴別・検診方式別のプロセス指標



<肺がん検診の年齢階級別の要精検者数・精検受診者数・精検受診率 [平成30～令和2年度 男女計]>

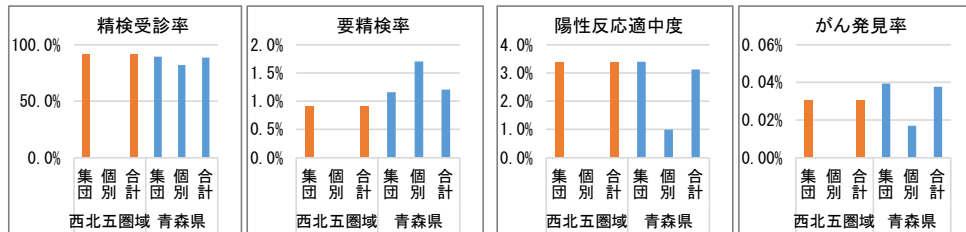
区分	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上	合計	40～74歳
西北五圏域 要精検者数	11	11	10	27	62	110	123	109	121	584	354
西北五圏域 精検受診者数	10	8	9	23	55	105	115	104	110	539	325
西北五圏域 精検受診率	90.9%	72.7%	90.0%	85.2%	88.7%	95.5%	93.5%	95.4%	90.9%	92.3%	91.8%
青森県 要精検者数	63	79	117	168	391	840	1,031	798	682	4,169	2,689
青森県 精検受診者数	53	64	92	148	338	760	928	729	610	3,722	2,383
青森県 精検受診率	84.1%	81.0%	78.6%	88.1%	86.4%	90.5%	90.0%	91.4%	89.4%	89.3%	88.6%

<肺がん検診の受診歴別のプロセス指標 [平成30～令和2年度 40歳～74歳 男女計]>



区分	受診者数	要精検者数	精検受診者数	がんであった者	要精検率	精検受診率	陽性反応適中度	がん発見率
西北五圏域 初回	7,815	96	82	4	1.2%	85.4%	4.2%	0.05%
西北五圏域 非初回	31,306	258	243	8	0.8%	94.2%	3.1%	0.03%
西北五圏域 合計	39,121	354	325	12	0.9%	91.8%	3.4%	0.03%
青森県 初回	52,647	836	703	27	1.6%	84.1%	3.2%	0.05%
青森県 非初回	163,987	1,734	1,573	57	1.1%	90.7%	3.3%	0.03%
青森県 合計	223,159	2,689	2,383	84	1.2%	88.6%	3.1%	0.04%

<肺がん検診の検診方式別のプロセス指標 [平成30～令和2年度 40歳～74歳 男女計]>



区分	受診者数	要精検者数	精検受診者数	がんであった者	要精検率	精検受診率	陽性反応適中度	がん発見率
西北五圏域 集団検診	39,121	354	325	12	0.9%	91.8%	3.4%	0.03%
西北五圏域 個別検診	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.00%
西北五圏域 合計	39,121	354	325	12	0.9%	91.8%	3.4%	0.03%
青森県 集団検診	205,451	2,387	2,135	81	1.2%	89.4%	3.4%	0.04%
青森県 個別検診	17,708	302	248	3	1.7%	82.1%	1.0%	0.02%
青森県 合計	223,159	2,689	2,383	84	1.2%	88.6%	3.1%	0.04%

(出典：R元～R3年度地域保健・健康増進事業報告)

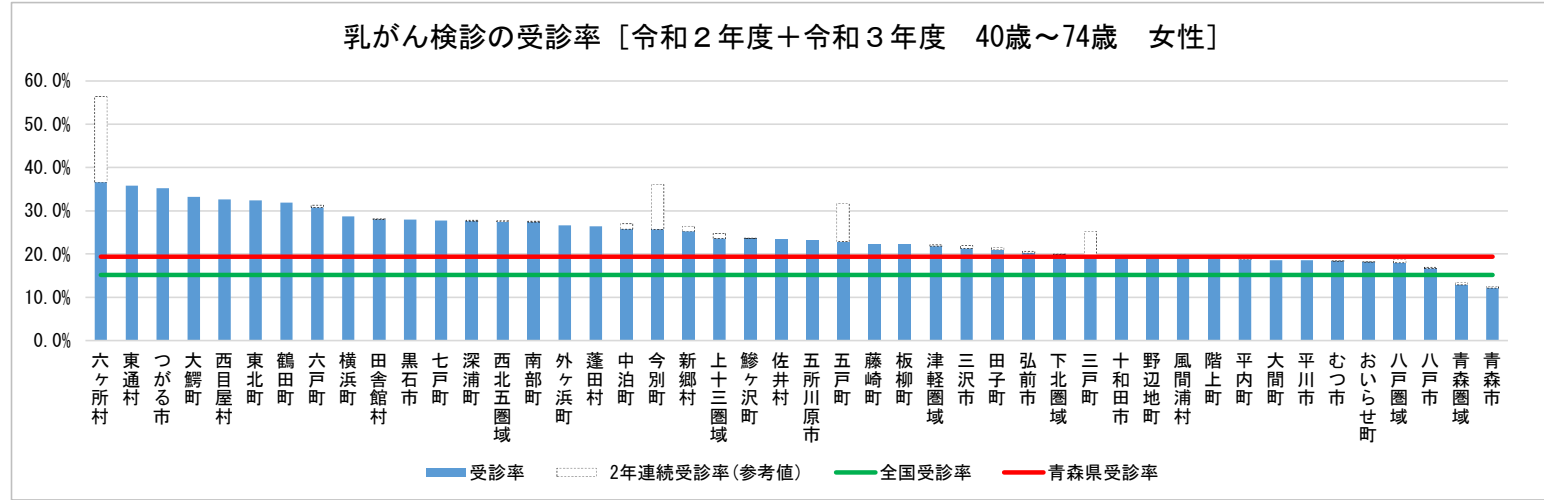
# 個別事項「プロセス指標」

がん検診に関して市町村等が取り組むべき事項  
[令和6年2月20日付け青が生第1724号通知]

## 令和3年度 乳がん検診プロセス指標 - 受診率 -

自治体名	西北五圏域
------	-------

### 1. 乳がん検診の受診率



**指標の意義・一般的な対策**

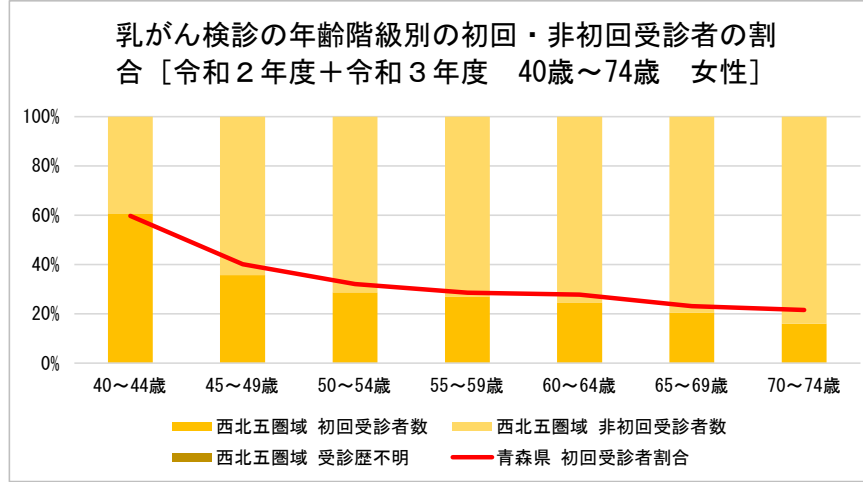
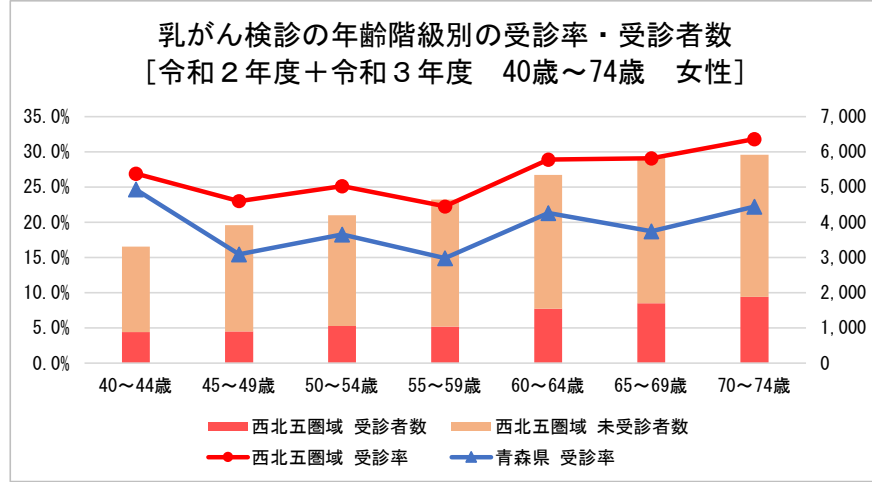
- ・受診率は、高い方が望ましい指標です。受診間隔（2年に1回）を遵守し、精度管理により検診の質を高めた上で、受診率を上げていく必要があります。
- ・性別・年齢階級別/検診機関別/検診歴別（初回・非初回別）の集計・分析は、課題を検討し、対策を講じるうえで必要となるため、台帳の電子システム化等により行えるようにすることが必要です。
- ・特定の年齢層の受診率が低い場合や、初回受診者が少ない場合、個別の受診勧奨・再勧奨の実施や、検診の提供体制（キャパシティ、利便性等）の改善について検討が必要です。

### <乳がん検診の受診率 [令和2年度+令和3年度 40歳~74歳 女性]>

区分	全国	青森県	青森圏域	津軽圏域	八戸圏域	西北五圏域	上十三圏域	下北圏域	青森市	弘前市	八戸市	黒石市	五所川原市	十和田市	三沢市	むつ市	つがる市	平川市
受診率	15.2%	19.4%	12.9%	21.9%	18.0%	27.5%	23.6%	19.9%	12.2%	20.3%	16.6%	27.9%	23.2%	19.3%	21.3%	18.4%	35.2%	18.5%
順位	—	—	—	—	—	—	—	—	40位	28位	39位	11位	22位	30位	26位	37位	3位	36位
受診者数	4,567,005	62,969	10,295	15,878	14,385	9,002	9,846	3,563	9,040	8,961	9,564	2,401	3,312	3,046	1,909	2,639	2,842	1,469
対象者数	30,115,751	324,707	79,826	72,620	79,941	32,725	41,675	17,920	74,247	44,240	57,459	8,599	14,285	15,770	8,959	14,379	8,067	7,932
区分	平内町	今別町	蓬田村	外ヶ浜町	鱈ヶ沢町	深浦町	西目屋村	藤崎町	大鰐町	田舎館村	板柳町	鶴田町	中泊町	野辺地町	七戸町	六戸町	横浜町	東北町
受診率	18.8%	25.7%	26.4%	26.7%	23.6%	27.6%	32.7%	22.3%	33.3%	28.1%	22.3%	31.9%	25.8%	19.3%	27.8%	30.8%	28.7%	32.4%
順位	34位	18位	16位	15位	20位	13位	5位	24位	4位	10位	25位	7位	17位	31位	12位	8位	9位	6位
受診者数	534	152	182	387	588	541	96	837	800	535	779	1,000	719	635	1,063	804	290	1,313
対象者数	2,846	592	689	1,452	2,493	1,961	294	3,747	2,406	1,906	3,496	3,131	2,788	3,298	3,830	2,611	1,009	4,050
区分	六ヶ所村	おいらせ町	大間町	東通村	風間浦村	佐井村	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村						
受診率	36.6%	18.2%	18.6%	35.8%	19.2%	23.4%	19.4%	22.9%	21.0%	27.4%	19.1%	25.3%	[受診率の計算方法について]					
順位	1位	38位	35位	2位	32位	21位	29位	23位	27位	14位	33位	19位	(R2年度の受診者数-R2年度の2年連続受診者数					
受診者数	786	1,139	233	503	87	101	463	949	279	1,207	652	132	+R元年度の受診者数)÷R2年度の対象者数=受診率					
対象者数	2,148	6,274	1,252	1,404	453	432	2,385	4,147	1,327	4,413	3,414	522	※他のプロセス指標に合わせ、75歳未満の受診率を計算					
													しているため他の統計の受診率と異なる。					

(出典：R3年度地域保健・健康増進事業報告) ※対象者数(分母)は対象年齢の全住民で、受診者数(分子)は市町村事業の受診者数であり、職域や人間ドックで受診している者は含まれていない。

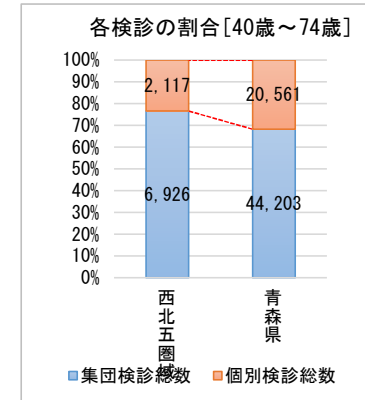
2. 乳がん検診の受診者の状況



<乳がん検診の年齢階級別の受診者数・受診率 [令和2年度+令和3年度 女性]>

区分		40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上	合計	40～69歳	40～74歳
西北五圏域	対象者数	3,306	3,918	4,200	4,645	5,346	5,841	5,921			33,177	27,256	33,177
西北五圏域	受診者数	889	901	1,054	1,034	1,544	1,697	1,883	832	480	10,314	7,119	9,002
西北五圏域	初回受診者数	537	321	302	280	378	347	301	122	81	2,669	2,165	2,466
西北五圏域	非初回受診者数	352	580	752	754	1,166	1,350	1,582	710	399	7,645	4,954	6,536
西北五圏域	受診歴不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
西北五圏域	受診率	26.9%	23.0%	25.1%	22.3%	28.9%	29.1%	31.8%				26.1%	27.1%
青森県	対象者数	36,988	43,229	43,793	43,022	46,992	51,834	58,849			324,707	265,858	324,707
青森県	受診者数	9,115	6,676	7,988	6,412	10,014	9,701	13,063	4,725	3,076	70,770	49,906	62,969
青森県	初回受診者数	5,451	2,678	2,560	1,832	2,779	2,237	2,819	987	746	22,089	17,537	20,356
青森県	非初回受診者数	3,539	3,921	5,295	4,494	7,120	7,380	10,142	3,724	2,319	47,934	31,749	41,891
青森県	受診歴不明	125	77	133	86	115	84	102	14	11	747	620	722
青森県	受診率	24.6%	15.4%	18.2%	14.9%	21.3%	18.7%	22.2%				18.8%	19.4%

※初回受診者＝過去3年間に受診歴がない者  
 ※非初回受診者＝過去3年間に受診歴がある者



※受診者数はR2年度とR3年度の受診者数の合計からR3年度の2年連続受診者数を除いた人数である。

※初回受診者数と非初回受診者数の合計が受診者数と一致しない、または初回受診者数と非初回受診者数を計上していない市町村があるため、そのような場合は受診歴不明として計上している。

※対象者数から受診者数を除いた人数を未受診者数と定義しているが、実際は職場や人間ドック等でがん検診を受診している者が含まれている。

# 個別事項「プロセス指標」 (別紙8とは対象年度が異なる点に留意)

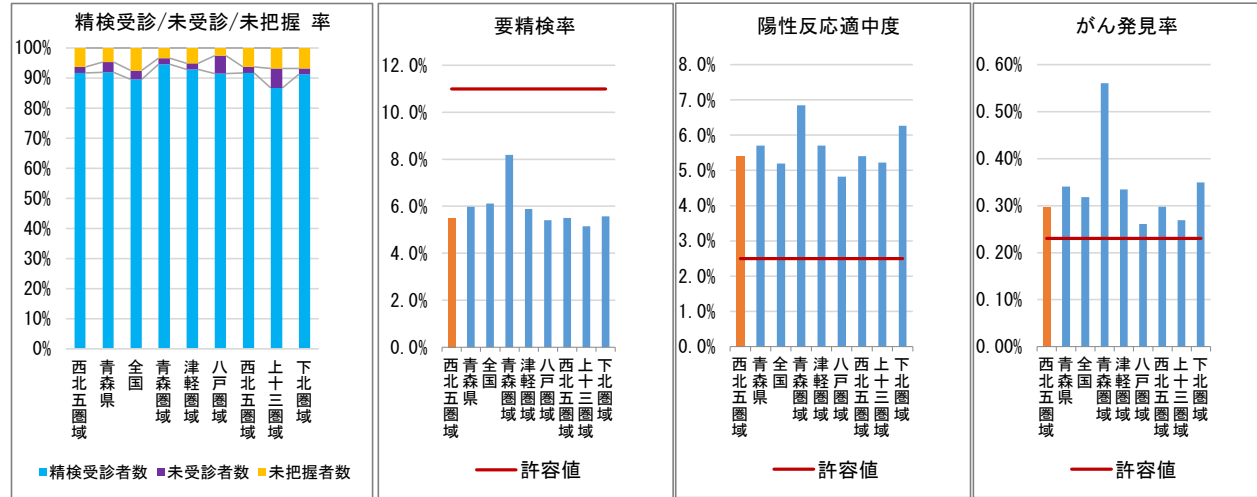
別紙8\_参考2

がん検診に関して市町村等が取り組むべき事項  
[令和6年2月20日付け青が生第1724号通知]

## 平成30～令和2年度 乳がん検診プロセス指標－受診率を除く－

自治体名	西北五圏域
------	-------

### 1. 乳がん検診のプロセス指標 (受診率を除く)



※許容値以下で極端な高低がないこと ※許容値以上で極端な高低がないこと ※許容値以上で極端な高低がないこと

### <乳がん検診のプロセス指標 [平成30～令和2年度 40歳～74歳 女性]>

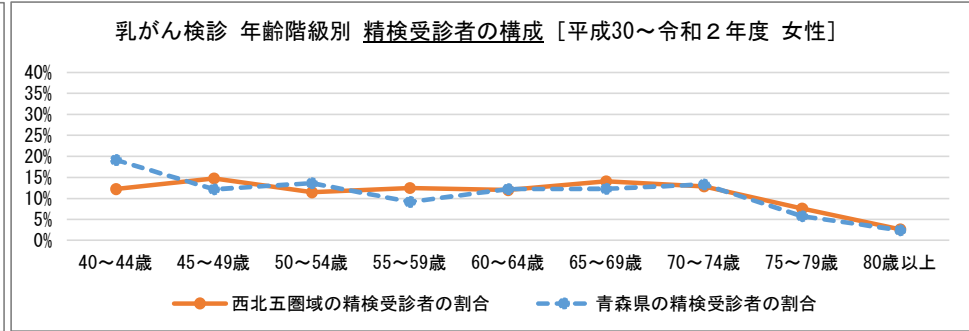
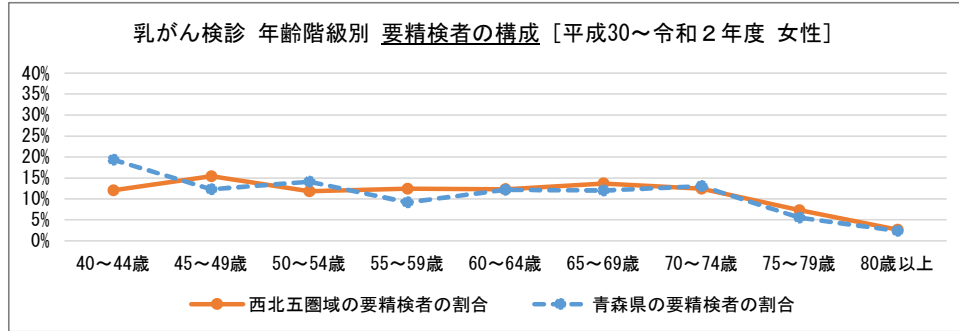
区分	西北五圏域	青森県	全国	青森圏域	津軽圏域	八戸圏域	西北五圏域	上十三圏域	下北圏域	許容値
受診者数	14,120	101,268	7,912,368	16,763	25,693	22,625	14,120	16,340	5,727	—
要精検者数	777	6,042	483,705	1,372	1,509	1,223	777	842	319	—
未把握者数	49	284	36,310	47	77	31	49	58	22	—
未受診者数	15	206	14,119	28	30	73	15	54	6	—
精検受診者数	713	5,552	433,276	1,297	1,402	1,119	713	730	291	—
がんであった者	42	345	25,149	94	86	59	42	44	20	—
要精検率	5.5%	6.0%	6.1%	8.2%	5.9%	5.4%	5.5%	5.2%	5.6%	11.0% 以下
精検受診率	91.8%	91.9%	89.6%	94.5%	92.9%	91.5%	91.8%	86.7%	91.2%	80% 以上
未受診率	1.9%	3.4%	2.9%	2.0%	2.0%	6.0%	1.9%	6.4%	1.9%	10% 以下
未把握率	6.3%	4.7%	7.5%	3.4%	5.1%	2.5%	6.3%	6.9%	6.9%	10% 以下
陽性反応適中度	5.4%	5.7%	5.2%	6.9%	5.7%	4.8%	5.4%	5.2%	6.3%	2.5% 以上
がん発見率	0.30%	0.34%	0.32%	0.56%	0.33%	0.26%	0.30%	0.27%	0.35%	0.23% 以上

[計算方法] ●要精検率=精検受診者数÷受診者数、●精検受診率=精検受診者数÷要精検者数、●未受診率=未受診者数÷要精検者数、●未把握率=未把握者数÷要精検者数、●陽性反応適中度=がんであった者÷要精検者数、●がん発見率=がんであった者÷受診者数

(出典：R元～R3年度地域保健・健康増進事業報告)

指標の意義・一般的な対策	
精検受診率 未受診率 未把握率	<ul style="list-style-type: none"> <li>要精検者の精検受診状況を測る指標です。</li> <li>精検受診率が低ければ、死亡率減少につながらないため、検診受診率よりも精検受診率向上が優先されます。また、100%に近くなければ、がん発見率等を適切に評価できません。</li> <li>精検結果回収の仕組みを整備し、精検未受診・未把握を適切に分類して、精検受診勧奨に取り組むことで、精検受診率100%に向けて取り組む必要があります。</li> </ul>
要精検率	<ul style="list-style-type: none"> <li>検診において、精密検査の対象者が適切に絞られているかを測る指標です。対象集団に応じて適切な範囲があり、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となります。</li> <li>要精検率が高い場合は有病率の高い集団に偏っていることや偽陽性が多いことが、低い場合は有病率の低い集団に偏っていることや偽陰性が多いことが原因と予想されるため検討が必要となります。</li> </ul>
陽性反応適中度	<ul style="list-style-type: none"> <li>検診において、効率よくがんが発見されたかを測る指標です。基本的に高いことが望ましいですが、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となります。</li> <li>陽性反応適中度が高い場合は有病率の高い集団に偏っていることが、低い場合は有病率の低い集団に偏っていることや偽陽性が多いことが原因と予想されるため検討が必要となります。</li> </ul>
がん発見率	<ul style="list-style-type: none"> <li>検診において、適正な頻度でがんを発見できたかを測る指標です。基本的に高いことが望ましいですが、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となります。</li> <li>がん発見率が高い場合は有病率の高い集団に偏っていることが、低い場合は有病率の低い集団に偏っていることや偽陰性が多いことが原因と予想されるため検討が必要となります。</li> </ul>

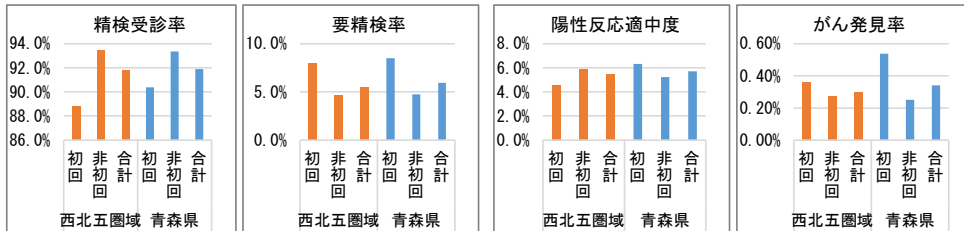
2. 乳がん検診の年齢階級別・受診歴別・検診方式別のプロセス指標



<乳がん検診の年齢階級別の要精検者数・精検受診者数・精検受診率 [平成30～令和2年度 女性]>

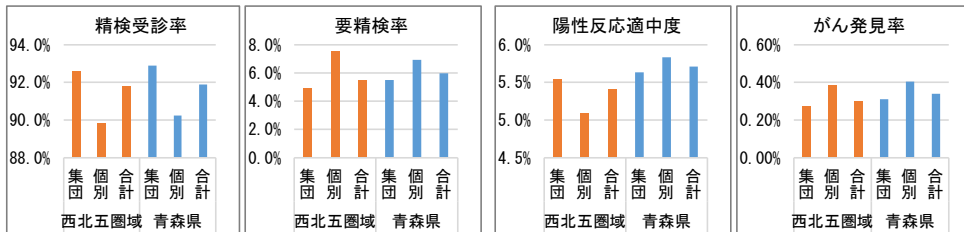
区分	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上	合計	40～74歳
西北五圏域 要精検者数	104	133	102	107	106	118	107	63	23	863	777
西北五圏域 精検受診者数	97	117	91	99	95	112	102	60	21	794	713
西北五圏域 精検受診率	93.3%	88.0%	89.2%	92.5%	89.6%	94.9%	95.3%	95.2%	91.3%	92.0%	91.8%
青森県 要精検者数	1,268	805	926	602	800	786	855	363	155	6,560	6,042
青森県 精検受診者数	1,158	736	822	552	739	741	804	347	145	6,044	5,552
青森県 精検受診率	91.3%	91.4%	88.8%	91.7%	92.4%	94.3%	94.0%	95.6%	93.5%	92.1%	91.9%

<乳がん検診の受診歴別のプロセス指標 [平成30～令和2年度 40歳～74歳 女性]>



区分	受診者数	要精検者数	精検受診者数	がんであった者	要精検率	精検受診率	陽性反応適中度	がん発見率
西北五圏域 初回	3,580	285	253	13	8.0%	88.8%	4.6%	0.36%
西北五圏域 非初回	10,540	492	460	29	4.7%	93.5%	5.9%	0.28%
西北五圏域 合計	14,120	777	713	42	5.5%	91.8%	5.4%	0.30%
青森県 初回	33,104	2,815	2,544	178	8.5%	90.4%	6.3%	0.54%
青森県 非初回	66,036	3,149	2,940	165	4.8%	93.4%	5.2%	0.25%
青森県 合計	101,268	6,042	5,552	345	6.0%	91.9%	5.7%	0.34%

<乳がん検診の検診方式別のプロセス指標 [平成30～令和2年度 40歳～74歳 女性]>



区分	受診者数	要精検者数	精検受診者数	がんであった者	要精検率	精検受診率	陽性反応適中度	がん発見率
西北五圏域 集団検診	10,990	541	501	30	4.9%	92.6%	5.5%	0.27%
西北五圏域 個別検診	3,130	236	212	12	7.5%	89.8%	5.1%	0.38%
西北五圏域 合計	14,120	777	713	42	5.5%	91.8%	5.4%	0.30%
青森県 集団検診	68,103	3,746	3,480	211	5.5%	92.9%	5.6%	0.31%
青森県 個別検診	33,165	2,296	2,072	134	6.9%	90.2%	5.8%	0.40%
青森県 合計	101,268	6,042	5,552	345	6.0%	91.9%	5.7%	0.34%

(出典：R元～R3年度地域保健・健康増進事業報告)



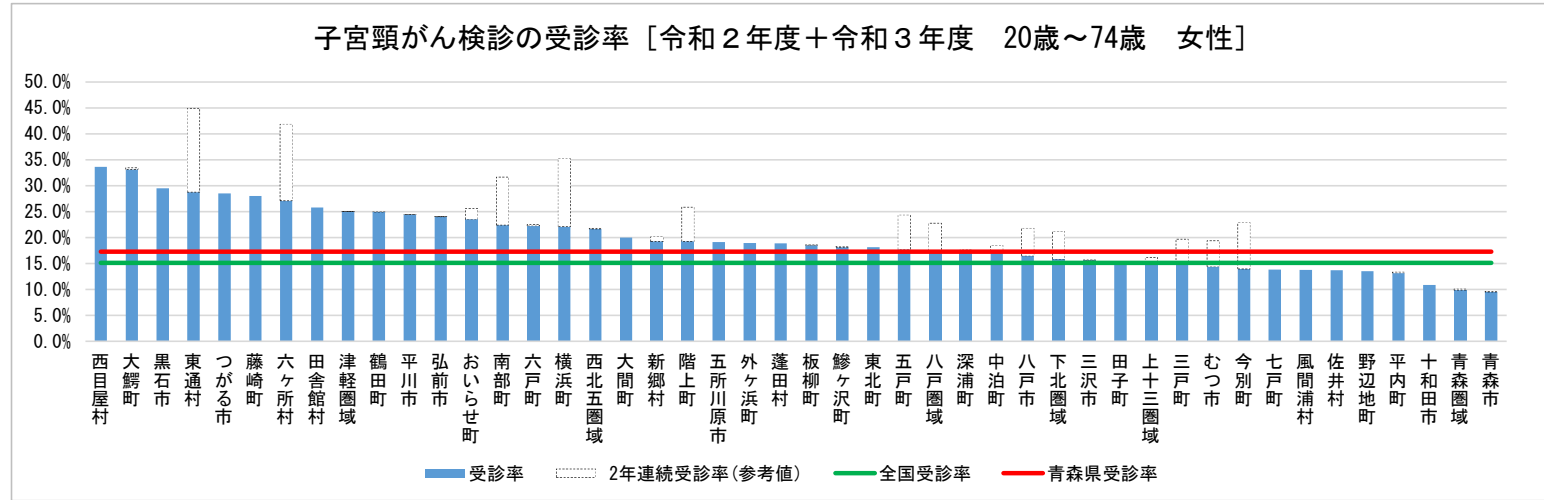
# 個別事項「プロセス指標」

がん検診に関して市町村等が取り組むべき事項  
[令和6年2月20日付け青が生第1724号通知]

## 令和3年度 子宮頸がん検診プロセス指標 - 受診率 -

自治体名	西北五圏域
------	-------

### 1. 子宮頸がん検診の受診率



**指標の意義・一般的な対策**

- ・受診率は、高い方が望ましい指標です。受診間隔（2年に1回）を遵守し、精度管理により検診の質を高めた上で、受診率を上げていく必要があります。
- ・性別・年齢階級別/検診機関別/検診歴別（初回・非初回別）の集計・分析は、課題を検討し、対策を講じるうえで必要となるため、台帳の電子システム化等により行えるようにすることが必要です。
- ・特定の年齢層の受診率が低い場合や、初回受診者が少ない場合、個別の受診勧奨・再勧奨の実施や、検診の提供体制（キャパシティ、利便性等）の改善について検討が必要です。

### <子宮頸がん検診の受診率 [令和2年度+令和3年度 20歳~74歳 女性] >

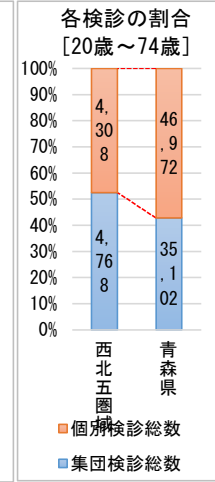
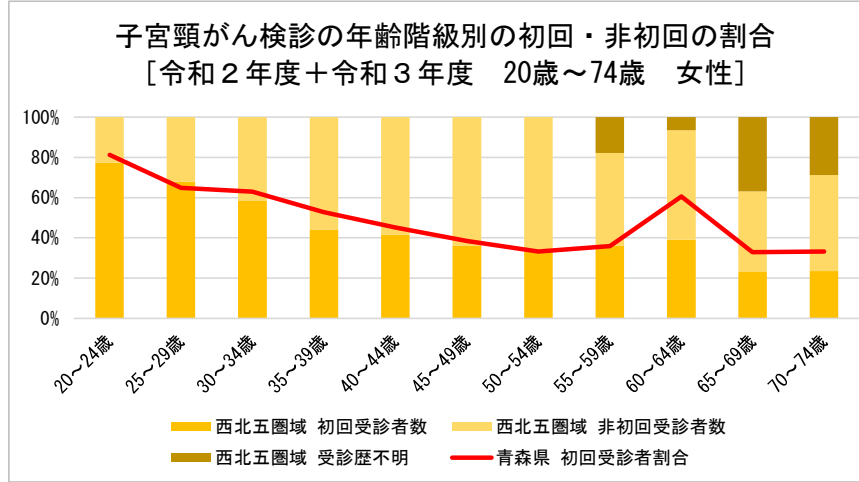
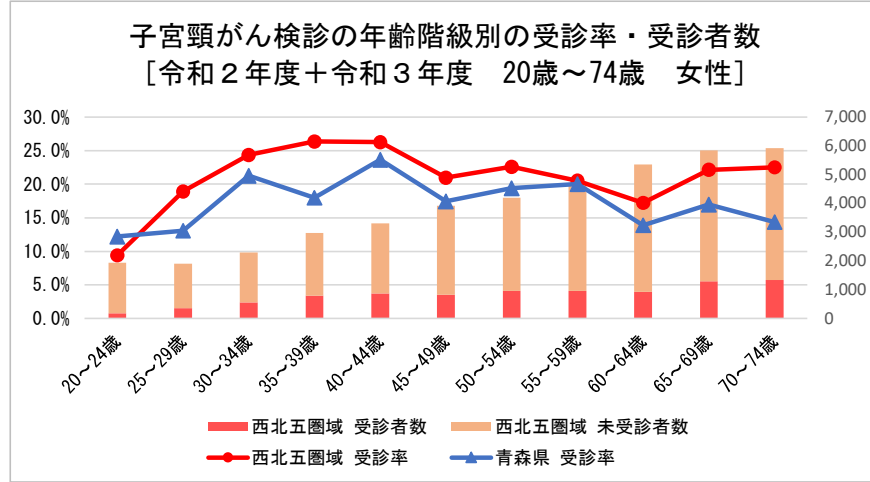
区分	全国	青森県	青森圏域	津軽圏域	八戸圏域	西北五圏域	上十三圏域	下北圏域	青森市	弘前市	八戸市	黒石市	五所川原市	十和田市	三沢市	むつ市	つがる市	平川市
受診率	15.1%	17.3%	9.9%	25.0%	17.5%	21.7%	15.0%	15.9%	9.5%	24.0%	16.5%	29.5%	19.1%	10.9%	15.6%	14.4%	28.5%	24.5%
順位	—	—	—	—	—	—	—	—	40位	11位	28位	3位	19位	39位	29位	32位	5位	10位
受診者数	6,537,396	74,231	10,407	24,208	18,597	9,025	8,309	3,685	9,364	14,319	12,720	3,324	3,513	2,244	1,983	2,696	2,955	2,576
対象者数	43,195,142	428,510	105,206	96,748	106,400	41,569	55,361	23,247	98,437	59,614	77,249	11,257	18,382	20,612	12,676	18,770	10,354	10,531
区分	平内町	今別町	蓬田村	外ヶ浜町	鱈ヶ沢町	深浦町	西目屋村	藤崎町	大鰐町	田舎館村	板柳町	鶴田町	中泊町	野辺地町	七戸町	六戸町	横浜町	東北町
受診率	13.2%	14.0%	18.9%	18.9%	18.2%	17.4%	33.7%	28.0%	33.1%	25.8%	18.5%	24.9%	17.3%	13.5%	13.9%	22.3%	22.1%	18.2%
順位	38位	33位	21位	20位	23位	26位	1位	6位	2位	8位	22位	9位	27位	37位	34位	14位	15位	24位
受診者数	465	97	161	320	557	407	129	1,416	972	638	834	1,005	588	550	669	785	293	960
対象者数	3,531	695	853	1,690	3,063	2,341	383	5,057	2,935	2,472	4,499	4,031	3,398	4,063	4,828	3,528	1,326	5,282
区分	六ヶ所村	おいらせ町	大間町	東通村	風間浦村	佐井村	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村						
受診率	27.1%	23.5%	20.0%	28.8%	13.7%	13.7%	15.0%	17.7%	15.1%	22.4%	19.3%	19.3%						
順位	7位	12位	16位	4位	35位	36位	31位	25位	30位	13位	18位	17位						
受診者数	825	2,021	317	527	75	70	445	929	246	1,257	850	129						
対象者数	3,046	8,606	1,588	1,832	546	511	2,969	5,254	1,625	5,614	4,414	669						

[受診率の計算方法について]  

$$\frac{(R2年度受診者数 - R2年度2年連続受診者数 + R1年度受診者数)}{R2年度対象者数} = \text{受診率}$$
 ※他のプロセス指標に合わせ、75歳未満の受診率を計算しているため他の統計の受診率と異なる。

(出典：R3年度地域保健・健康増進事業報告) ※対象者数（分母）は対象年齢の全住民で、受診者数（分子）は市町村事業の受診者数であり、職域や人間ドックで受診している者は含まれていない。

2. 子宮頸がん検診の受診者の状況



<子宮頸がん検診の年齢階級別の受診者数・受診率 [令和2年度+令和3年度 女性]>

※初回受診者=過去3年間に受診歴がない者、非初回受診者=過去3年間に受診歴がある者

区分	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上	合計	20～69歳	20～74歳
西北五圏域 対象者数	1,939	1,903	2,296	2,975	3,306	3,918	4,200	4,645	5,346	5,841	5,921	16,713		59,003	36,369	42,290
西北五圏域 受診者数	182	360	559	784	868	822	949	954	921	1,294	1,332	1,488	615	11,128	7,693	9,025
西北五圏域 初回受診者数	141	244	326	346	361	298	313	346	361	298	313	250	324	3,921	3,034	3,347
西北五圏域 非初回受診者数	41	116	233	438	507	524	636	439	501	518	636	675	977	6,241	3,953	4,589
西北五圏域 受診歴不明	0	0	0	0	0	0	0	169	59	478	383	563	△ 686	966	706	1,089
西北五圏域 受診率	9.4%	18.9%	24.3%	26.4%	26.3%	21.0%	22.6%	20.5%	17.2%	22.2%	22.5%	12.6%		18.9%	21.2%	21.3%
青森県 対象者数	22,945	22,549	25,800	32,509	36,988	43,229	43,793	43,022	46,992	51,834	58,849	140,064		568,574	369,661	428,510
青森県 受診者数	2,796	2,944	5,490	5,850	8,754	7,540	8,484	8,610	6,519	8,789	8,455	10,746	4,430	89,407	65,776	74,231
青森県 初回受診者数	2,273	1,911	3,454	3,084	3,951	2,897	2,818	3,084	3,951	2,897	2,818	1,895	2,521	37,554	30,320	33,138
青森県 非初回受診者数	443	915	1,883	2,581	4,580	4,445	5,478	2,232	4,351	4,113	5,248	4,818	6,957	48,044	31,021	36,269
青森県 受診歴不明	80	118	153	185	223	198	188	3,294	△ 1,783	1,779	389	4,033	△ 5,048	3,809	4,435	4,824
青森県 受診率	12.2%	13.1%	21.3%	18.0%	23.7%	17.4%	19.4%	20.0%	13.9%	17.0%	14.4%	10.8%		15.7%	17.8%	17.3%

※受診者数はR2年度とR3年度の受診者数の合計からR3年度の2年連続受診者数を除いた人数である。

※初回受診者数と非初回受診者数の合計が受診者数と一致しない、または初回受診者数と非初回受診者数を計上していない市町村があるため、そのような場合は受診歴不明として計上している。

※対象者数から受診者数を除いた人数を未受診者数と定義しているが、実際は職場や人間ドック等でがん検診を受診している者が含まれている。

# 個別事項「プロセス指標」 (別紙9とは対象年度が異なる点に留意)

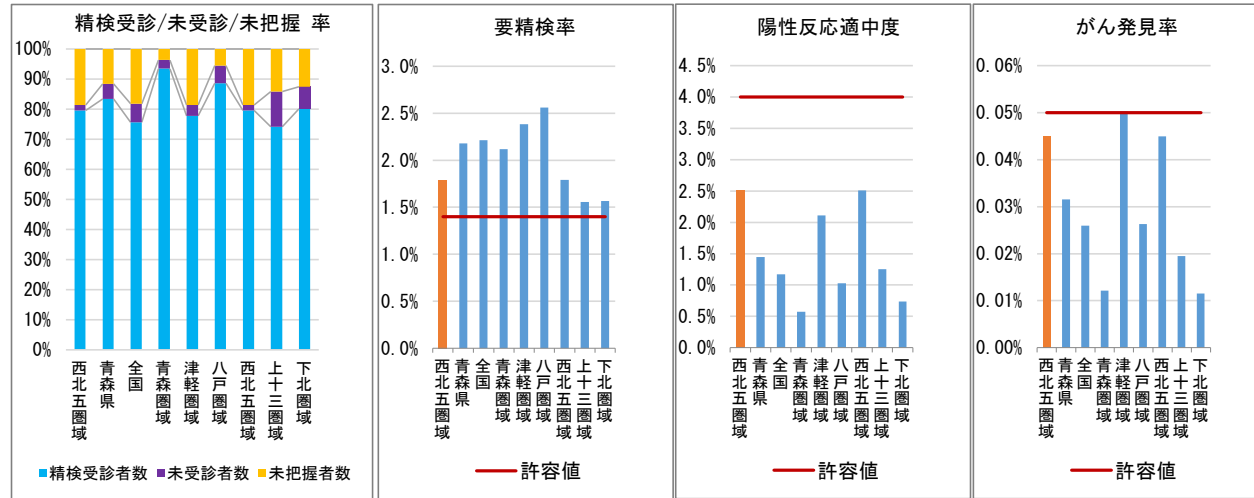
別紙9\_参考2

がん検診に関して市町村等が取り組むべき事項  
[令和6年2月20日付け青が生第1724号通知]

## 平成30～令和2年度 子宮頸がん検診プロセス指標 - 受診率を除く -

自治体名	西北五圏域
------	-------

### 1. 子宮頸がん検診のプロセス指標 (受診率を除く)



※許容値以下で極端な高低がないこと ※許容値以上で極端な高低がないこと ※許容値以上で極端な高低がないこと

### <子宮頸がん検診のプロセス指標 [平成30～令和2年度 20歳～74歳 女性]>

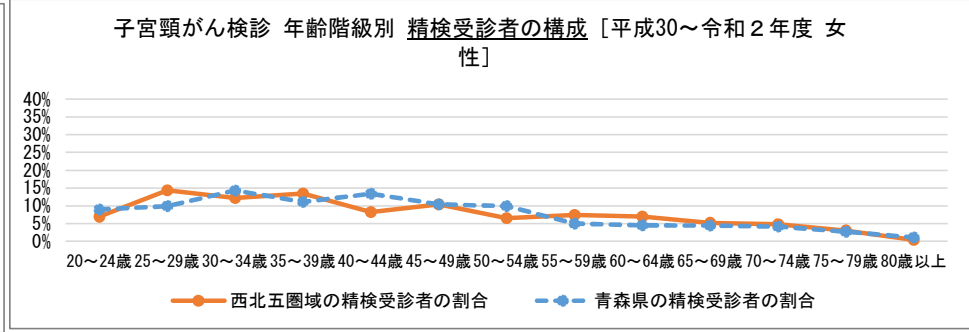
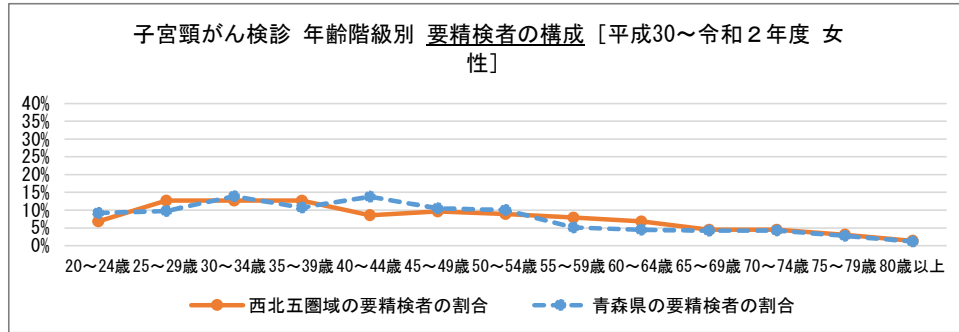
区分	西北五圏域	青森県	全国	青森圏域	津軽圏域	八戸圏域	西北五圏域	上十三圏域	下北圏域	許容値
受診者数	15,568	129,954	11,485,489	16,534	35,775	37,981	15,568	15,420	8,676	—
要精検者数	279	2,830	254,194	350	852	973	279	240	136	—
未把握者数	52	329	46,094	13	159	54	52	34	17	—
未受診者数	5	141	15,872	10	31	57	5	28	10	—
精検受診者数	222	2,360	192,228	327	662	862	222	178	109	—
がんであった者	7	41	2,983	2	18	10	7	3	1	—
要精検率	1.8%	2.2%	2.2%	2.1%	2.4%	2.6%	1.8%	1.6%	1.6%	1.4% 以下
精検受診率	79.6%	83.4%	75.6%	93.4%	77.7%	88.6%	79.6%	74.2%	80.1%	70% 以上
未受診率	1.8%	5.0%	6.2%	2.9%	3.6%	5.9%	1.8%	11.7%	7.4%	20% 以下
未把握率	18.6%	11.6%	18.1%	3.7%	18.7%	5.5%	18.6%	14.2%	12.5%	10% 以下
陽性反応適中度	2.5%	1.4%	1.2%	0.6%	2.1%	1.0%	2.5%	1.3%	0.7%	4.0% 以上
がん発見率	0.04%	0.03%	0.03%	0.01%	0.05%	0.03%	0.04%	0.02%	0.01%	0.05% 以上

指標の意義・一般的な対策	
精検受診率 未受診率 未把握率	<ul style="list-style-type: none"> <li>要精検者の精検受診状況を測る指標です。</li> <li>精検受診率が低ければ、死亡率減少につながらないため、検診受診率よりも精検受診率向上が優先されます。また、100%に近くなければ、がん発見率等を適切に評価できません。</li> <li>精検結果回収の仕組みを整備し、精検未受診・未把握を適切に分類して、精検受診勧奨に取り組むことで、精検受診率100%に向けて取り組む必要があります。</li> </ul>
要精検率	<ul style="list-style-type: none"> <li>検診において、精密検査の対象者が適切に絞られているかを測る指標です。対象集団に応じて適切な範囲があり、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となります。</li> <li>要精検率が高い場合は有病率の高い集団に偏っていることや偽陽性が多いことが、低い場合は有病率の低い集団に偏っていることや偽陰性が多いことが原因と予想されるため検討が必要となります。</li> </ul>
陽性反応適中度	<ul style="list-style-type: none"> <li>検診において、効率よくがんが発見されたかを測る指標です。基本的に高いことが望ましいですが、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となります。</li> <li>陽性反応適中度が高い場合は有病率の高い集団に偏っていることが、低い場合は有病率の低い集団に偏っていることや偽陽性が多いことが原因と予想されるため検討が必要となります。</li> </ul>
がん発見率	<ul style="list-style-type: none"> <li>検診において、適正な頻度でがんを発見できたかを測る指標です。基本的に高いことが望ましいですが、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となります。</li> <li>がん発見率が高い場合は有病率の高い集団に偏っていることが、低い場合は有病率の低い集団に偏っていることや偽陰性が多いことが原因と予想されるため検討が必要となります。</li> </ul>

[計算方法] ●要精検率=精検受診者数÷受診者数、●精検受診率=精検受診者数÷要精検者数、●未受診率=未受診者数÷要精検者数、●未把握率=未把握者数÷要精検者数、●陽性反応適中度=がんであった者÷要精検者数、●がん発見率=がんであった者÷受診者数

(出典：R元～R3年度地域保健・健康増進事業報告)

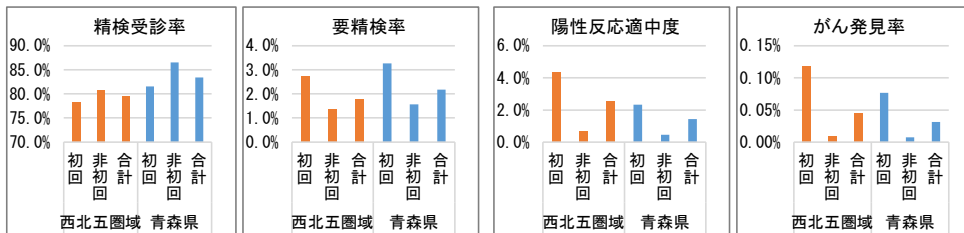
2. 子宮頸がん検診の年齢階級別・受診歴別・検診方式別のプロセス指標



<子宮頸がん検診の年齢階級別の要精検者数・精検受診者数・精検受診率 [平成30～令和2年度 女性] >

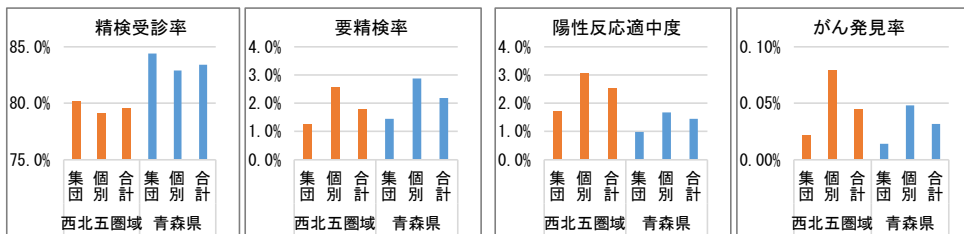
区分	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上	合計	20～74歳
西北五圏域 要精検者数	20	37	37	37	25	28	26	23	20	13	13	9	4	292	279
西北五圏域 精検受診者数	16	33	28	31	19	24	15	17	16	12	11	7	1	230	222
西北五圏域 精検受診率	80.0%	89.2%	75.7%	83.8%	76.0%	85.7%	57.7%	73.9%	80.0%	92.3%	84.6%	77.8%	25.0%	78.8%	79.6%
青森県 要精検者数	272	288	410	315	405	309	296	151	133	124	127	81	35	2,946	2,830
青森県 精検受診者数	219	243	351	273	329	255	244	123	111	109	103	66	27	2,453	2,360
青森県 精検受診率	80.5%	84.4%	85.6%	86.7%	81.2%	82.5%	82.4%	81.5%	83.5%	87.9%	81.1%	81.5%	77.1%	83.3%	83.4%

<子宮頸がん検診の受診歴別のプロセス指標 [平成30～令和2年度 20歳～74歳 女性] >



区分	受診者数	要精検者数	精検受診者数	がんであった者	要精検率	精検受診率	陽性反応適中度	がん発見率
西北五圏域 初回	5,074	138	108	6	2.7%	78.3%	4.3%	0.12%
西北五圏域 非初回	10,494	141	114	1	1.3%	80.9%	0.7%	0.01%
西北五圏域 合計	15,568	279	222	7	1.8%	79.6%	2.5%	0.04%
青森県 初回	44,384	1,454	1,186	34	3.3%	81.6%	2.3%	0.08%
青森県 非初回	81,636	1,281	1,108	6	1.6%	86.5%	0.5%	0.01%
青森県 合計	129,954	2,830	2,360	41	2.2%	83.4%	1.4%	0.03%

<子宮頸がん検診の検診方式別のプロセス指標 [平成30～令和2年度 20歳～74歳 女性] >



区分	受診者数	要精検者数	精検受診者数	がんであった者	要精検率	精検受診率	陽性反応適中度	がん発見率
西北五圏域 集団検診	9,245	116	93	2	1.3%	80.2%	1.7%	0.02%
西北五圏域 個別検診	6,323	163	129	5	2.6%	79.1%	3.1%	0.08%
西北五圏域 合計	15,568	279	222	7	1.8%	79.6%	2.5%	0.04%
青森県 集団検診	63,340	917	774	9	1.4%	84.4%	1.0%	0.01%
青森県 個別検診	66,614	1,913	1,586	32	2.9%	82.9%	1.7%	0.05%
青森県 合計	129,954	2,830	2,360	41	2.2%	83.4%	1.4%	0.03%